



消えた目

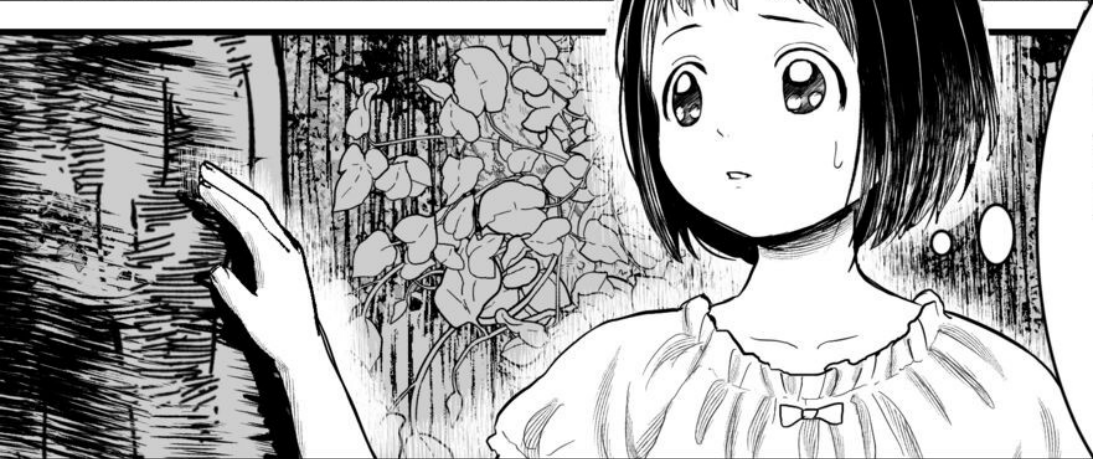
蛭夢

まひるちゃん



おかしいな…

寝ぼけて裏山に
来ちゃった
のかな？

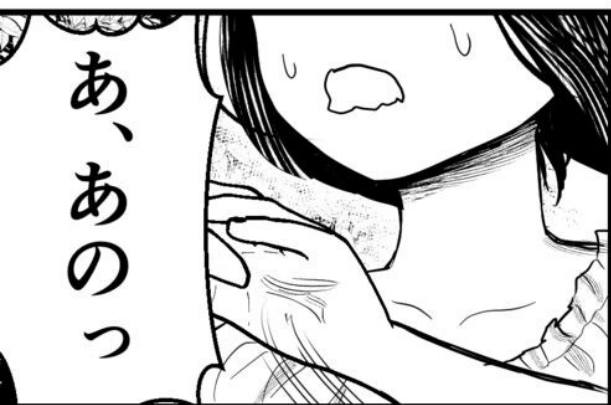


それから…

昨日は確か
こゆきちゃんと
川遊びして、
それから
家に帰って…







あ、あのっ



助けて！

あそこに変なのが居る！

ぎゅっ



来い、
ここは危険だ

クイッ

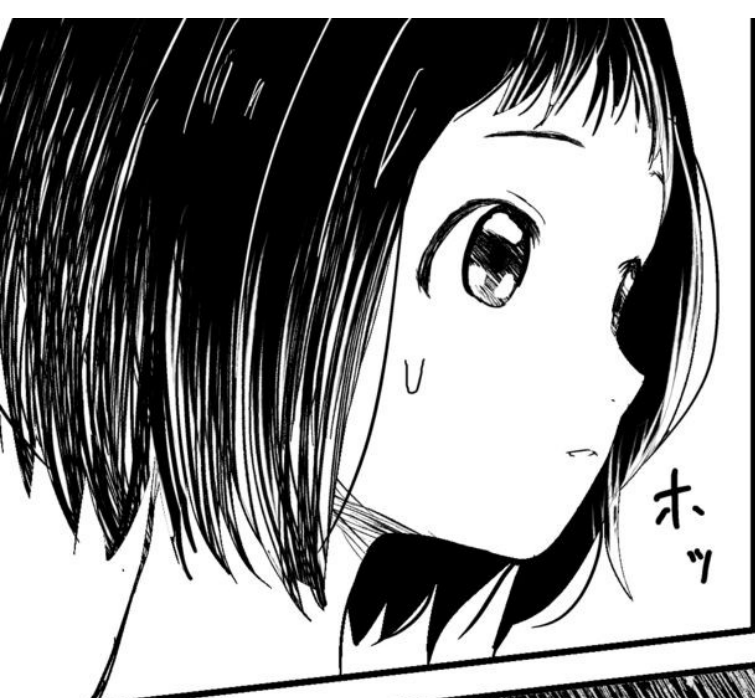


ぎゅう...
ぎゅう...



どうか祈って
やってくれ

哀れだろう？あれを
見てると胸が痛む



ホッ

この家の周辺なら、
あいつらは入っては
こない。いくらでも
休んでいくといいさ



しかし、人間か…
何十年、いや何百年
ぶりか…

あの…

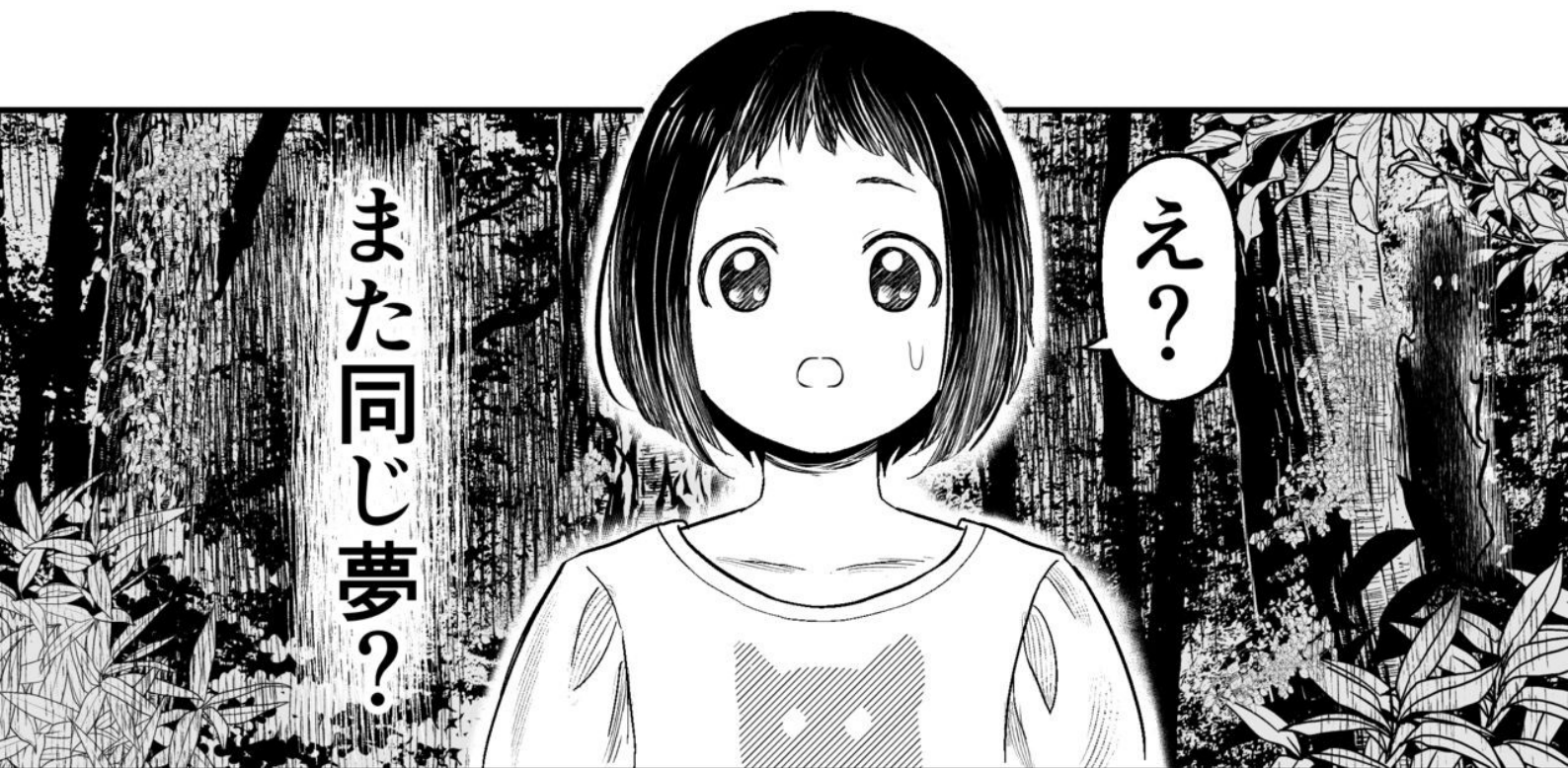
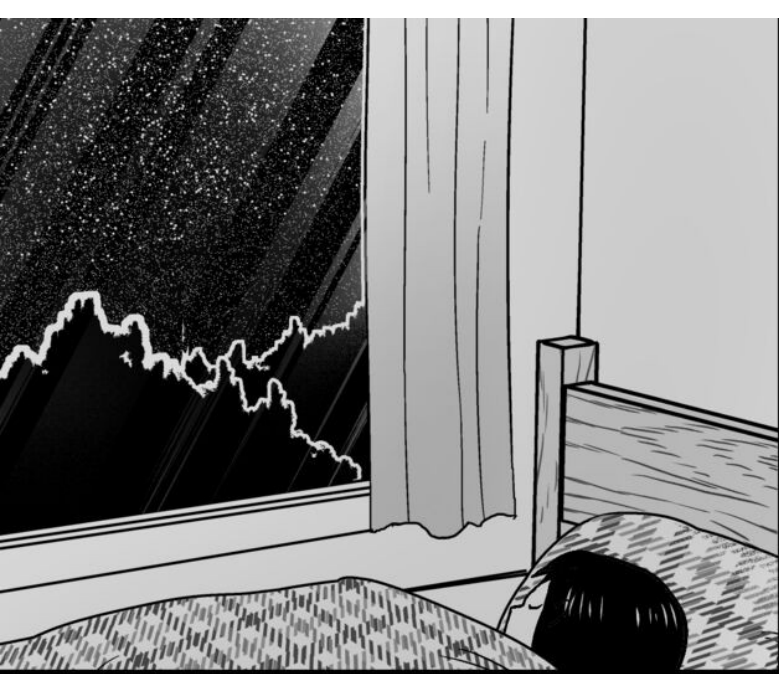


なら、外の話
を聞かせてくれ



へっ…

私に出来ることは
ありますか？





ずうっと昔から

神様はいつから
ここに居るの？



そんなところだ

お兄さんは神様？



じゃあ、神様は
なんで私の夢に
現れるの？

俺がお前の夢に
現れるんじゃない。



お前が勝手に
ここに迷い込んで
来てるんだ

たまに居るんだ。
こちら側を覗く目に
恵まれた奴が

お前、運がいいな



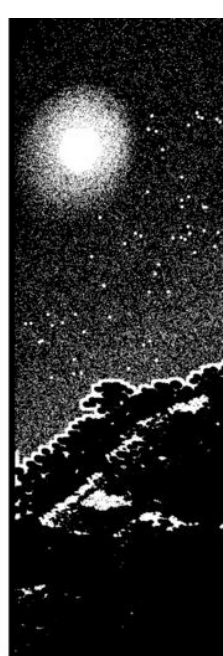
今日は神様に
拾ったヤママモを
あげました。

今日は神様が
人形劇を見せて
くれました。

今日はお盆が近いので
いつもより念入りに
祈っておきました。

ズズズ...





神様？

あの、もう大丈夫



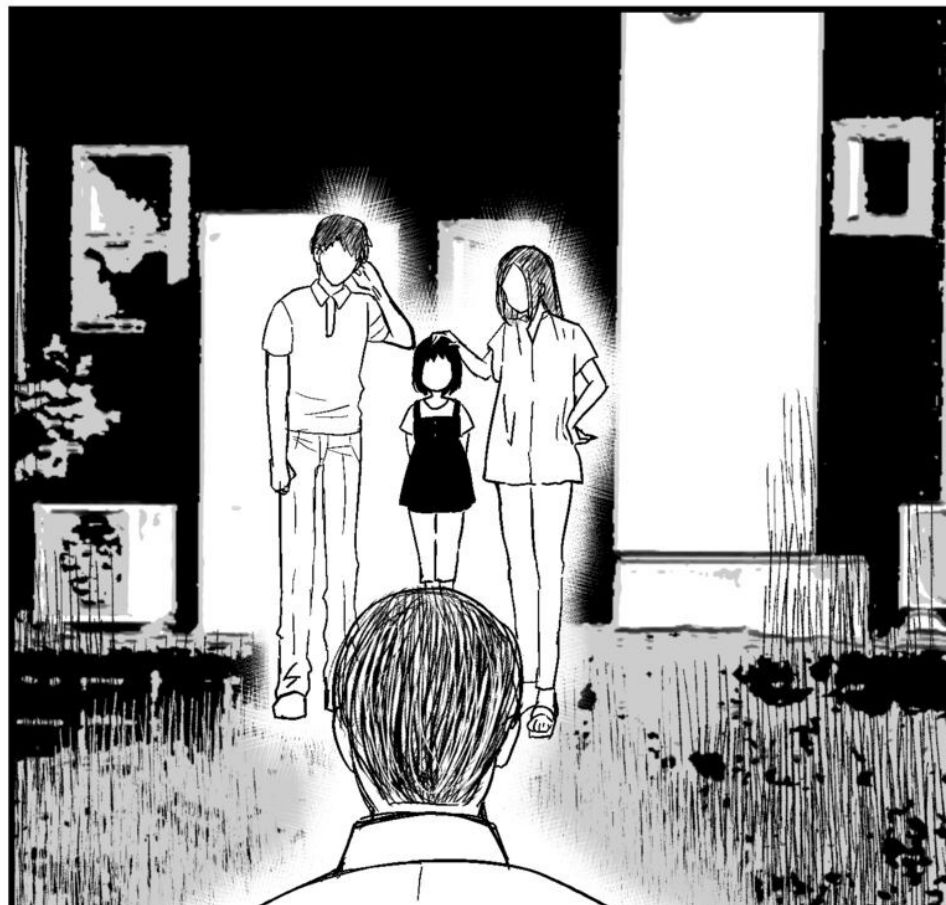
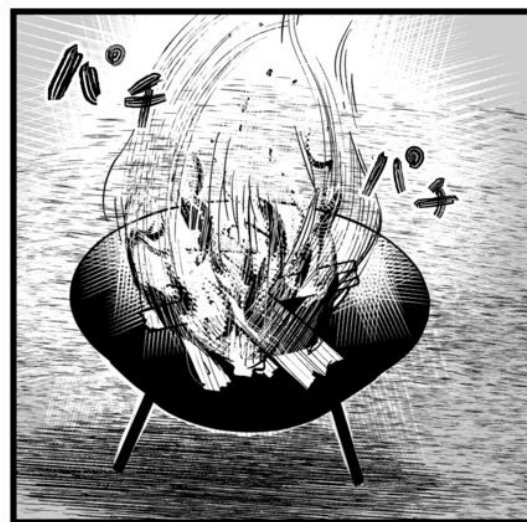
もう治った

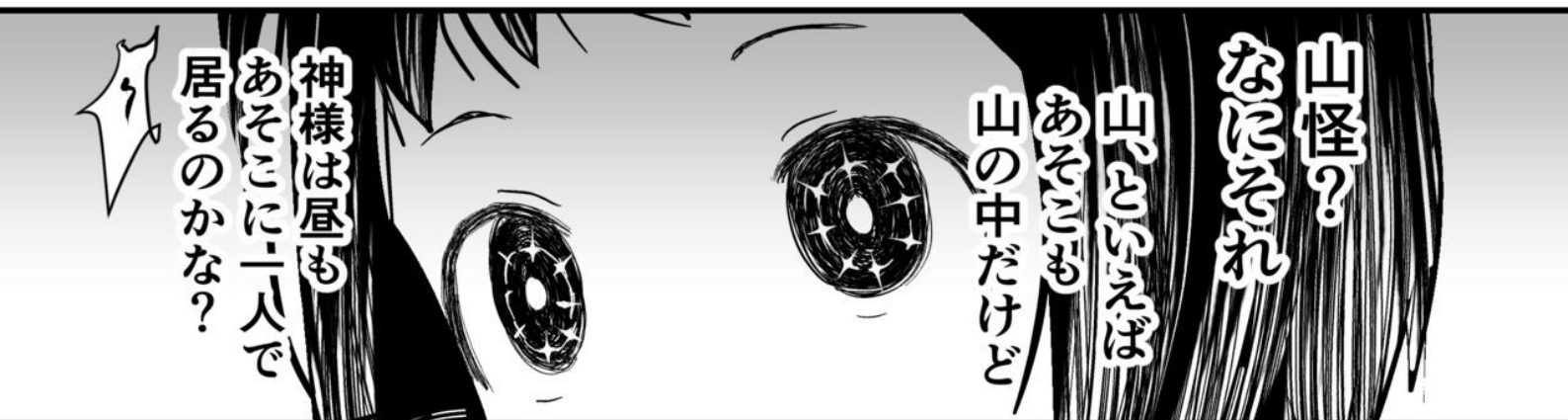
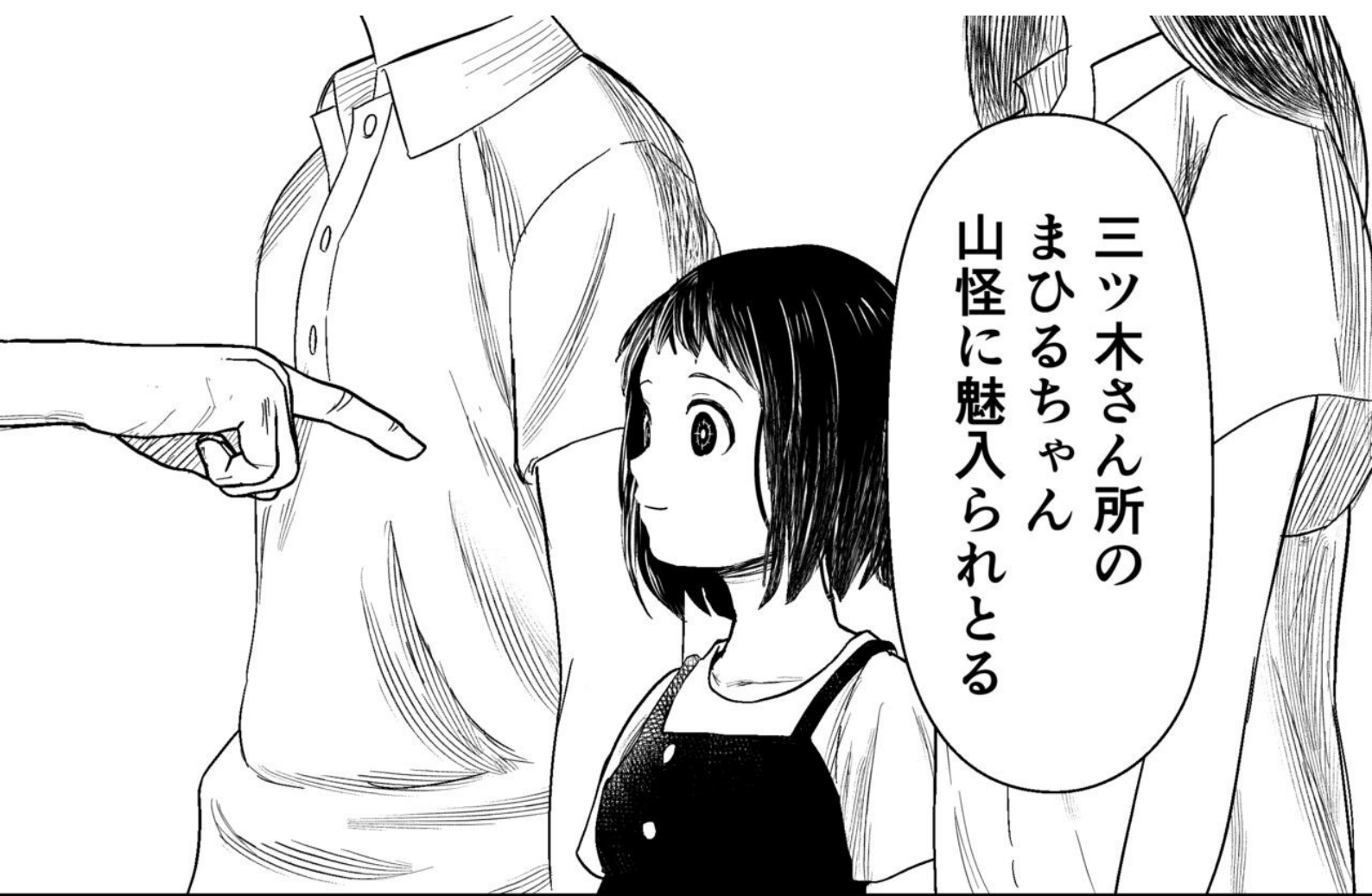


なに、信者には
それなりの施しを
与えてやるさ

信者にされちゃった...







これから
何されても

夢の中では絶対
声を出さない
ようにしなさい

ファッ!?



なあ、今日は俺から頼みたいことがあるんだが…



やっぱり
ちよつと
悪いような…

きゅ…

まひる？



今日は機嫌が
悪いのか？

なあ、また話を
聞かせてくれよ

なで なで

あれ？私名前
教えてたっけ？







起きたか



そんな時、
お前が
来てくれた

俺はこの山に
封じられて
長い時を
過ごしてきた



もう分かって
いるとは思うが、

ここでの時間は
常世と同じだ



俺にとって
お前は都合が
良かった

選ぶ。

ここで全身の
血を吸い尽く
されて死ぬか

俺に少しばかりの
体液を啜られるのか



そう怯えるな

ある程度力が
戻ったらすぐ
解放してやるさ

スリ...
スリ...





本当は血がいいんだが…
まさかこの俺が
こんな事をするとはな

はー！…♡

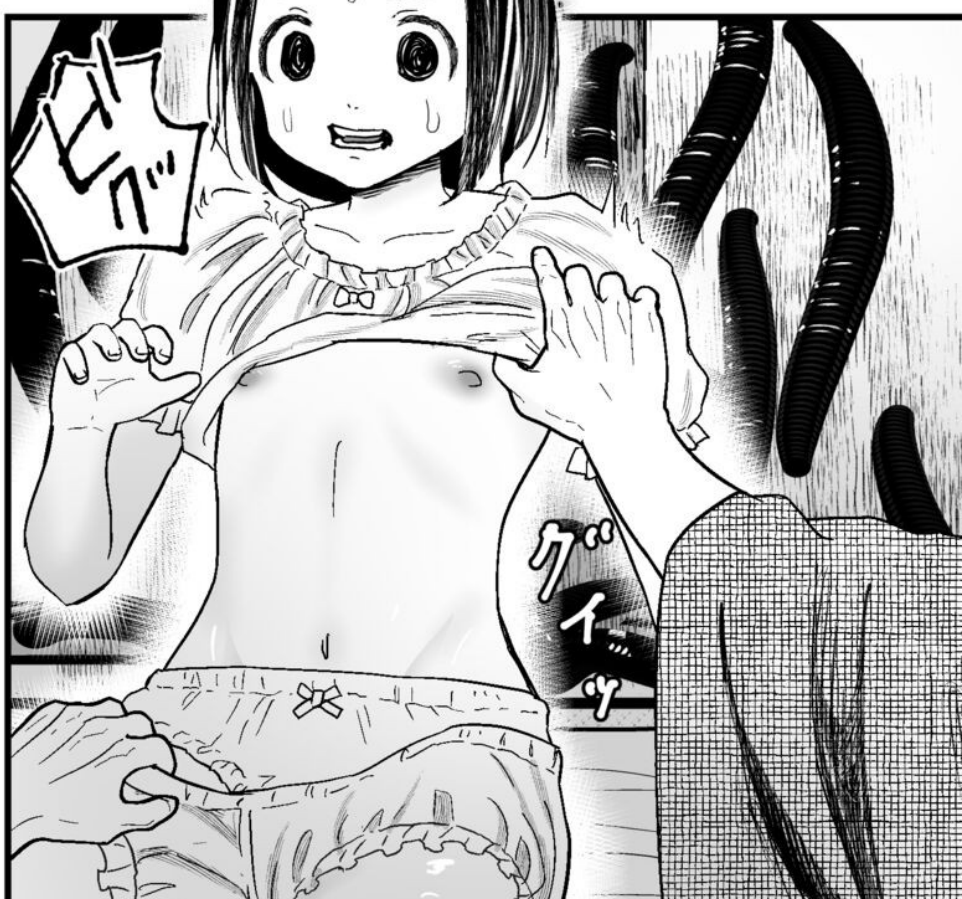
ヌチャ♡



スルッ

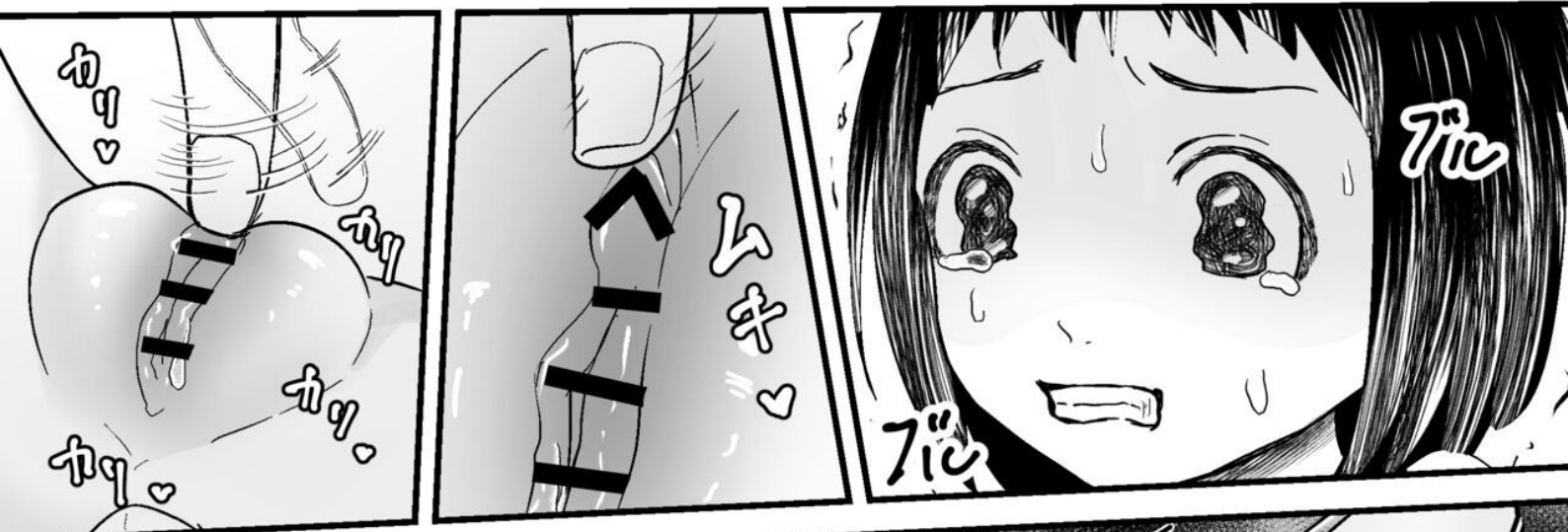


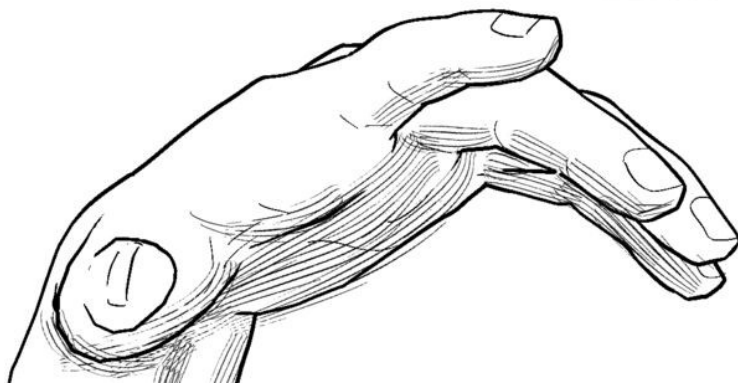
スリッ
スリッ



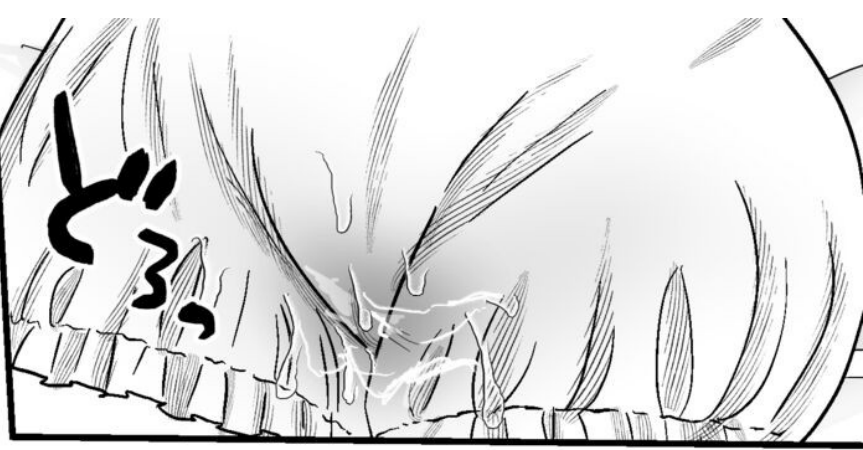
グアイッ

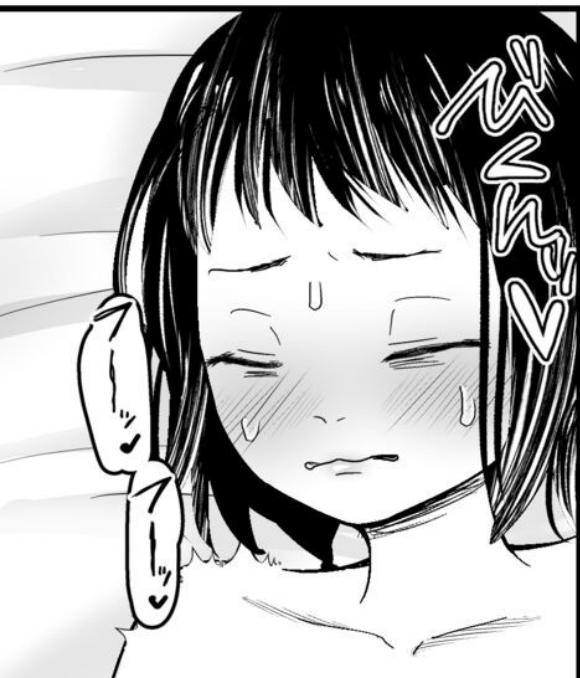






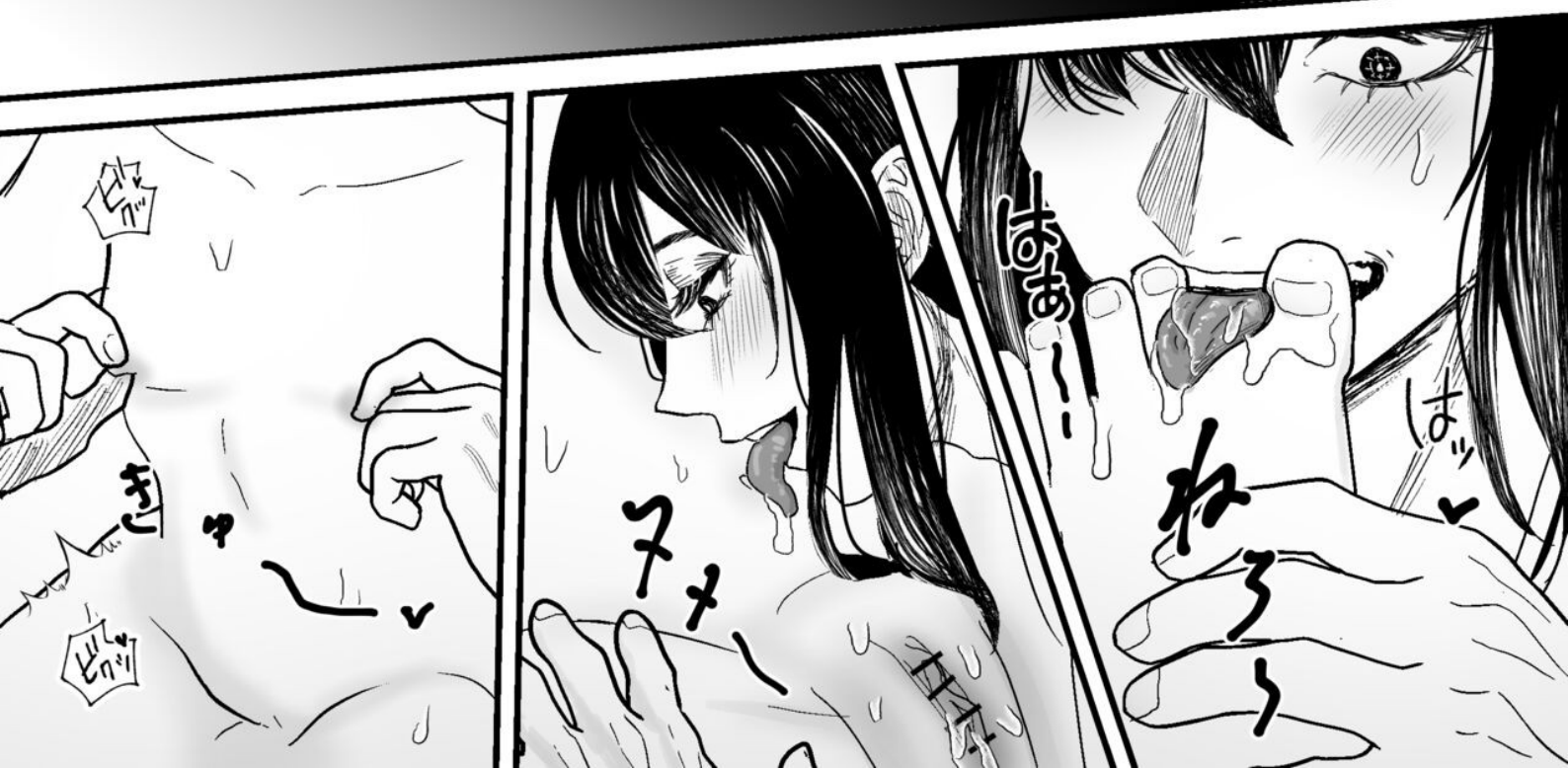














また気を
やったのか？

まひるは悪い
癖に本当に
はしたないな

はー!!

びくびくッ



こんなに
濡らして…

粘っこくて
今日のは特に
美味しいな

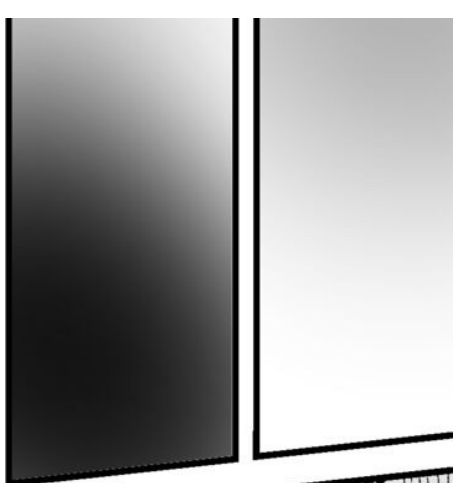
ぬちゅ♡

びくッ♡

びくッ♡

びくッ♡





今日はここを
慰めてくれ。

やり方は教えてやる

お前はいい子だ…
できるよな？

ズシッ



ほら、少し擦るだけ
だから、簡単だろ？



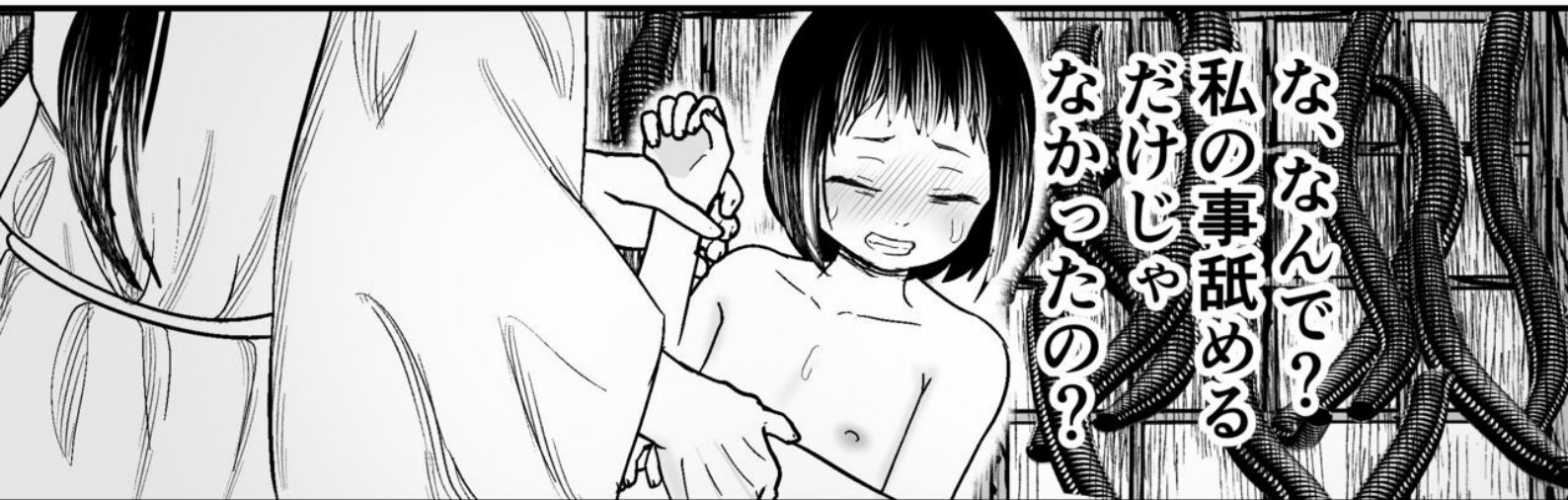
だってこれ……

いや

はー！

ズンッ

はー！

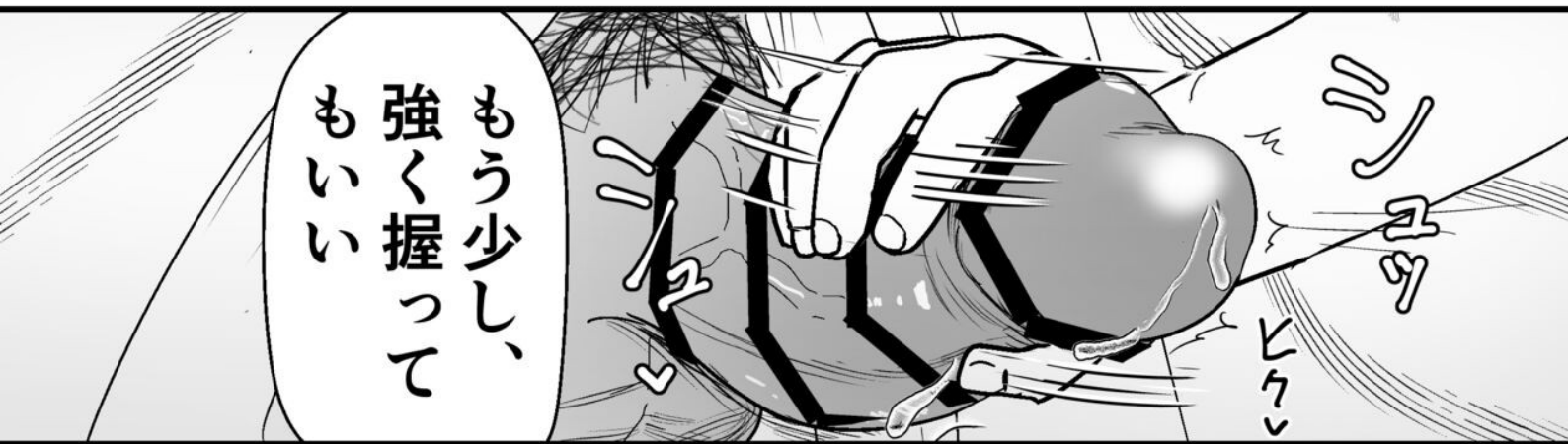


な、なんで？
私の事舐める
だけじゃ
なかったの？



それとも、もっと
無茶苦茶に
されたいのか？

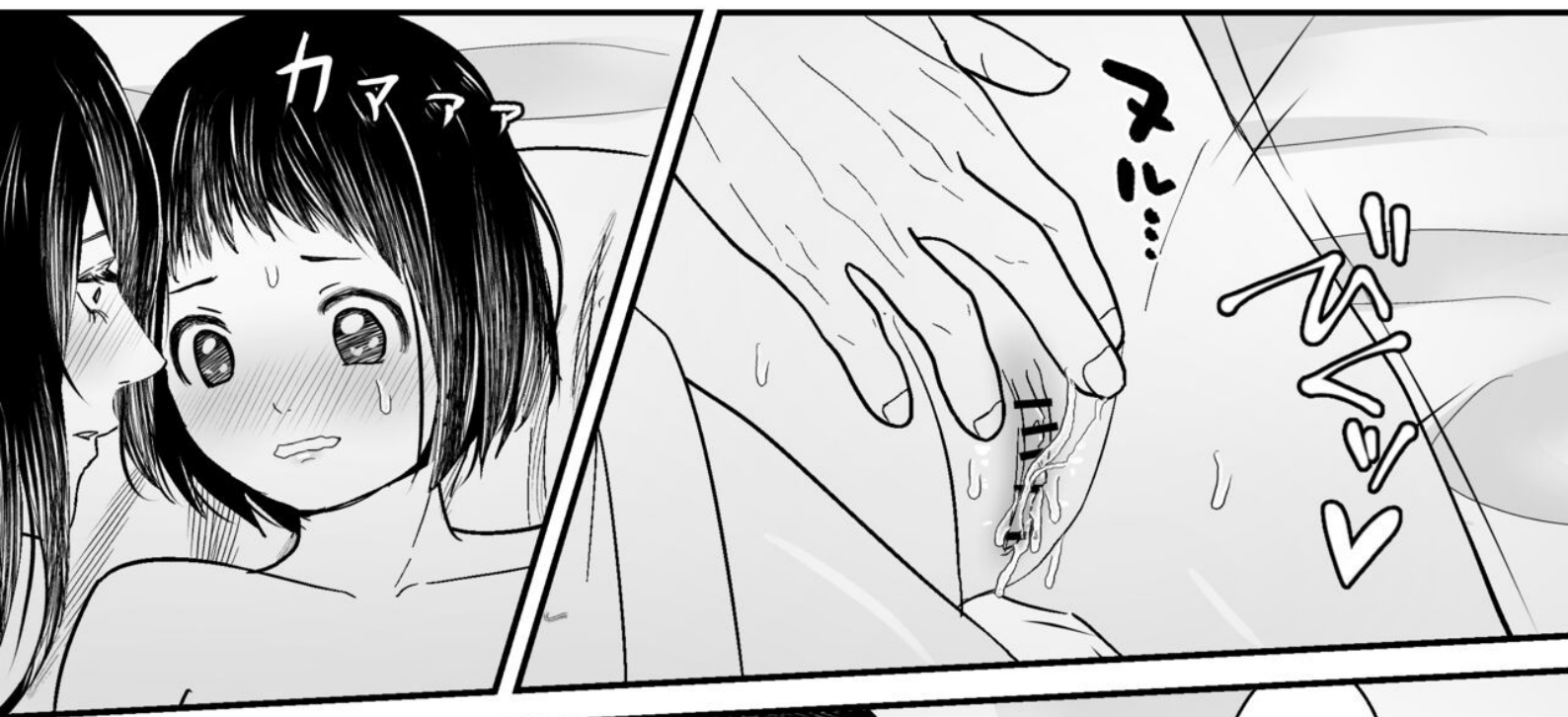
ここをよくして
くれたら今日はもう
終わらせてやる



もう少し、
強く握って
もいい



次は、
もう少し
先の方で
小刻みに



これで股の間を
擦ってやる。
脚を閉じろ

ぐ
いっ
っ

そうだ、いい子だ

ぬちっ

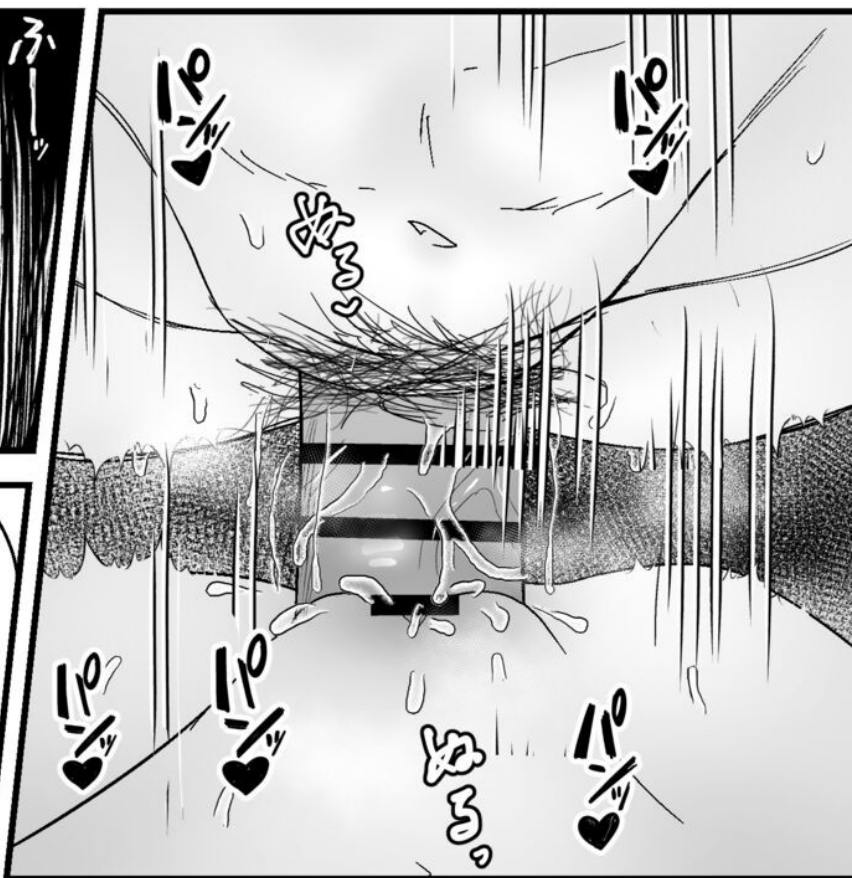
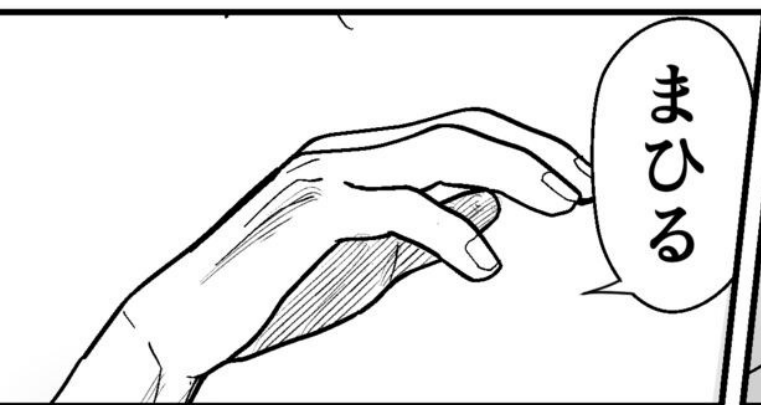
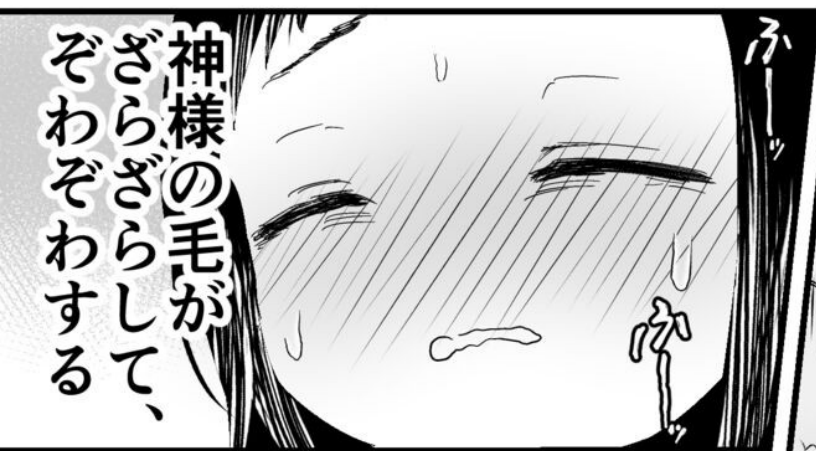
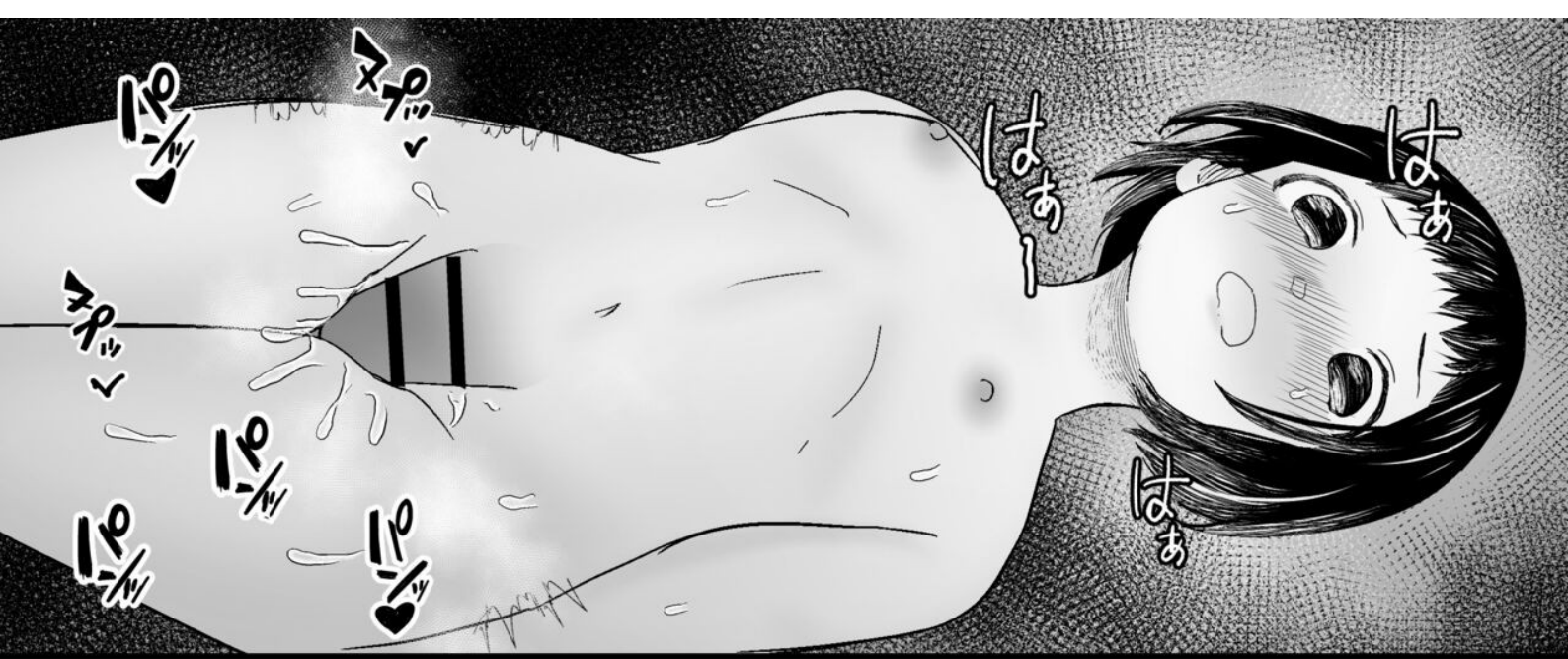
これ、最高だ
お前のが絡み
ついてきて…

ぬちっ
ぬちっ

ぬちっ

ぬちっ♡

ぬちっ♡

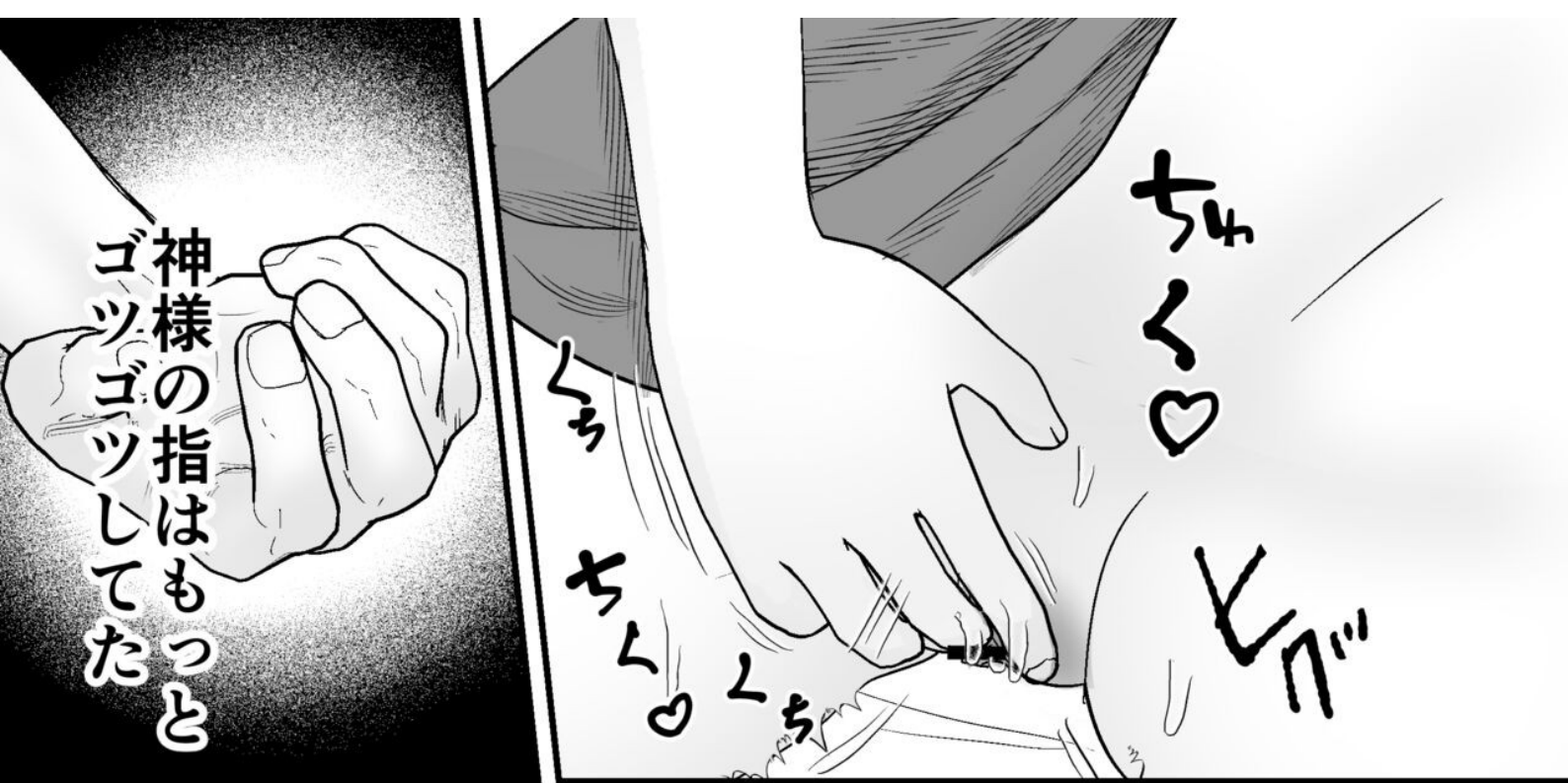


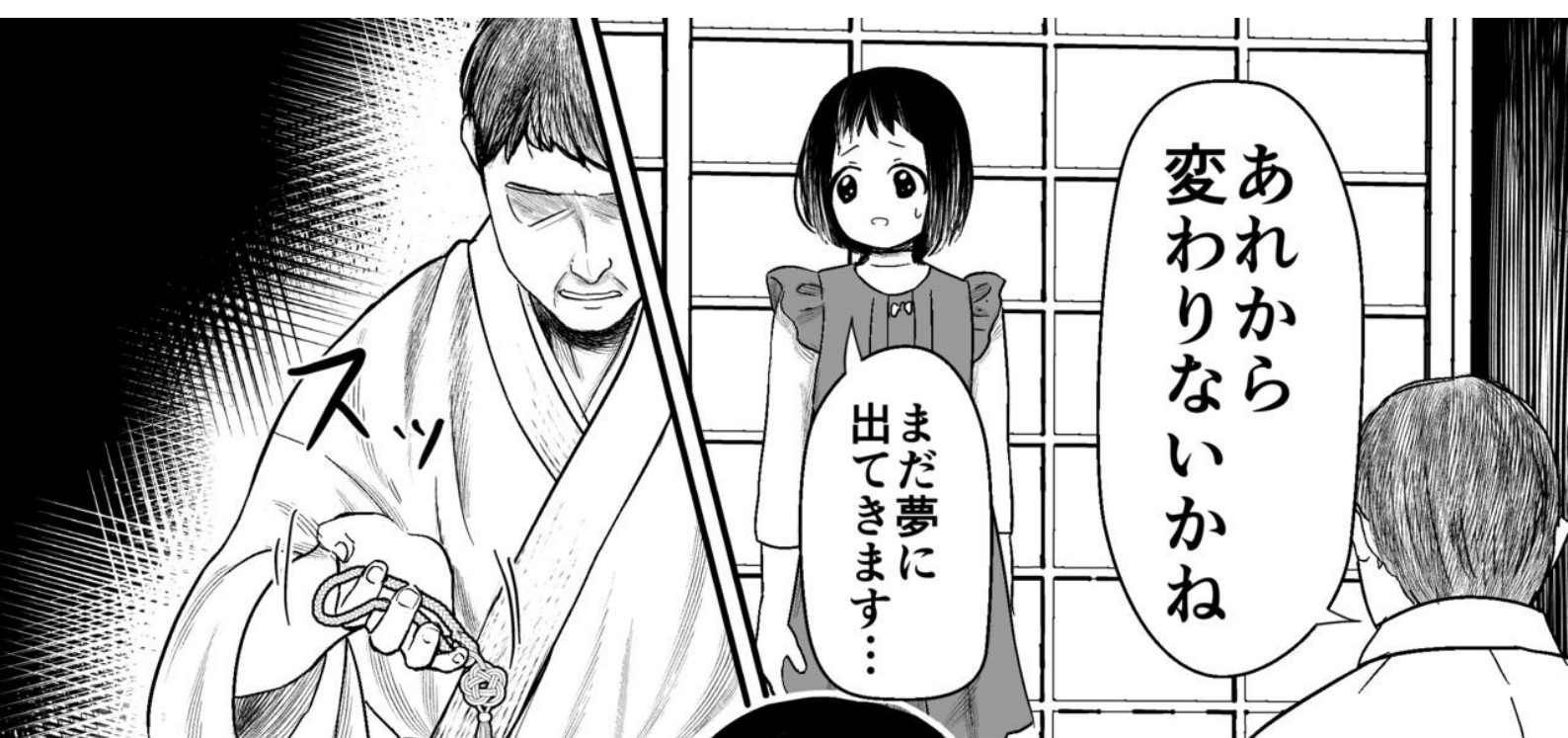


こんな夜を何度か
繰り返してるうちに



いつしか何をするのにも
身が入らなくなり、
あそこが疼いて
仕方ありませんでした





あれから
変わらないかね

まだ夢に
出てきます…

スッ



作るのに
時間が掛かった。

これがあれば
山怪から姿を
くらまして
くれるからね



あれ？いつもは
家の中なのにな





ガサッ

どこに居る?

本当に、これで
良かったのかな...

まひるう...

ヒキイッ



姿は見えずとも
気配はありか：

なあ、出てこいよ
まひる、近くに居る
んだろ？

サッ



おいおい、このまま
だんまりか？随分と
寂しいじゃないか

やっぱり
神様は怖い……！！



俺に触られたのが
そんなに嫌だったのか？

あんなによがったた
癖に今更かまっと
ぶるなよ

それとも、ずっと
こいつを出してたのが
嫌だったとか？

でもそうしないと
お前は俺から
逃げただろう？

七日後

わかった、こうしよう。
お前と口吸いだけ
させてくれれば、
それ以上の事はしない

お前と居る間は
この蛭も
しまっておく
そうしたら怖く
ないだろ？

それに、俺に力を貸してくれたら、
見た目だって変えられるぞ。
教えてくれよ。どんな姿がいい？

お前の好みの
男になってやるよ

ああ、それとも男
じゃなくて女の
姿がいいか？
お前が望むなら
そっちでもいいぞ

実はこの見た目は、
森を今彷徨ってる
奴らの中の一人を
参考にしたのさ。

…なあ、いい加減
出てこいよ

半年後

まひる、まだ機嫌が悪いのか？頼むから出てきてくれ

俺はお前を害するつもりなんてなかったんだ。

その証拠に痛い事なんて一度もしなかっただろう？

最初、お前が何かできる事がないかって、それが俺は嬉しかったんだぜ

初めてあんな風に接して貰えた事が、は、おかしいだろ？

クク



だから無視
しないでくれ。

まひるが居ないと、
ここは地獄なんだ…

なあ、誰か邪魔な
人間は居ないか？
俺が食ってやるよ

それとも欲しい
物があるのか？

だったら、
なんだって
用意してやる。
後少しなんだ…

更に一年後



これも駄目か…

こんな事なら
最初から食って
おけば良かった…

ズル…



俺はお前なんか
居なくても、
いつか外に出て
前のように人を
食って、食って

じわっ

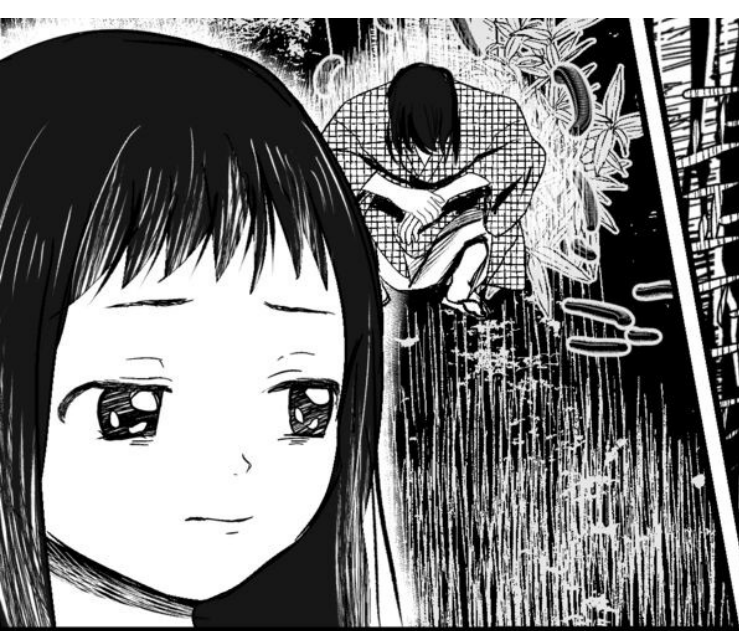
そうして…
また、一人か？
嫌だ、嫌だ嫌だ
まひる、まひる
まひるううつ



お前だけは喰いたくないんだ
全部俺が悪かった、許してくれ
何でもするから…

ここは寒いんだ。
こんな所に俺を
置いていかないでくれ

ハッ…



どうして、寂しいなら
寂しいって最初から
言ってくれなかったの？





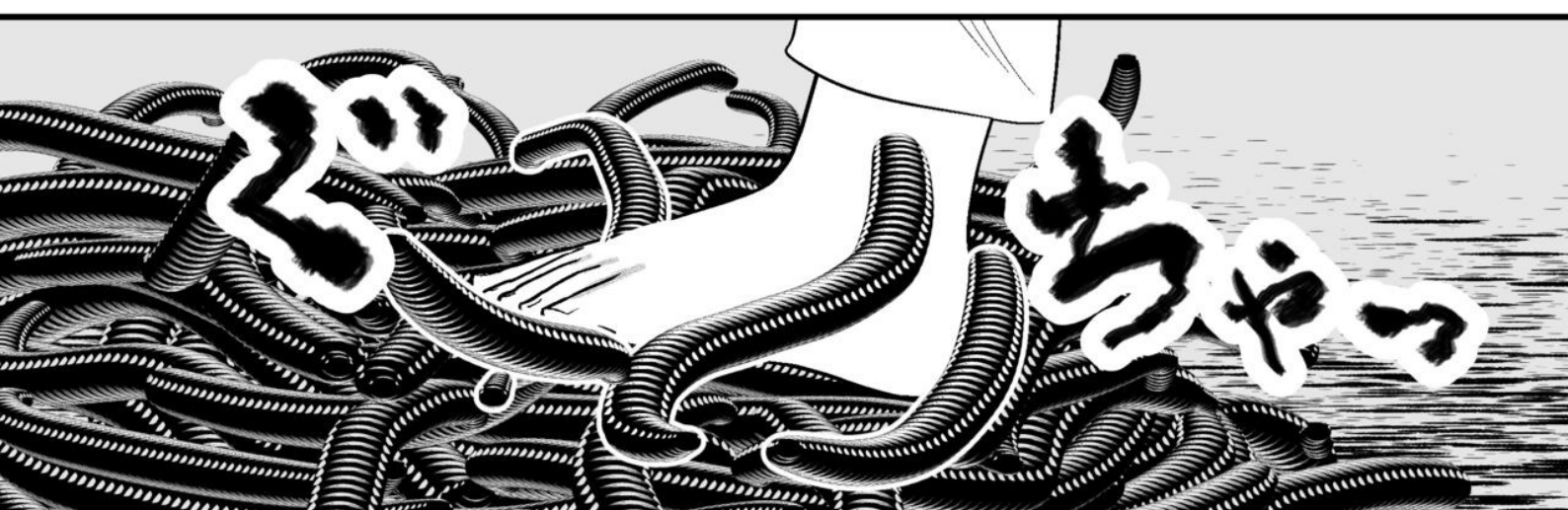
あれ、私の部屋？



：やっぱり
近くには居て
あげようかな



「森の外の亡霊は
俺を昔封印した
奴らの成れの果てさ」





ギウウウウー

初~~め~~はもう
済ませたのか？

それに、前よりいい
匂いがするんだが…

この場所に俺の
力の殆どを使った
甲斐があった…！

はあ

ずっと
会いたかった…

ぜえ



分散させた状態で
捕まらないなら、

罟を張って直接
俺の中に入れて
しまえばいい……！

スル

まひるが俺から
離れようとしてくれて
本当に良かった

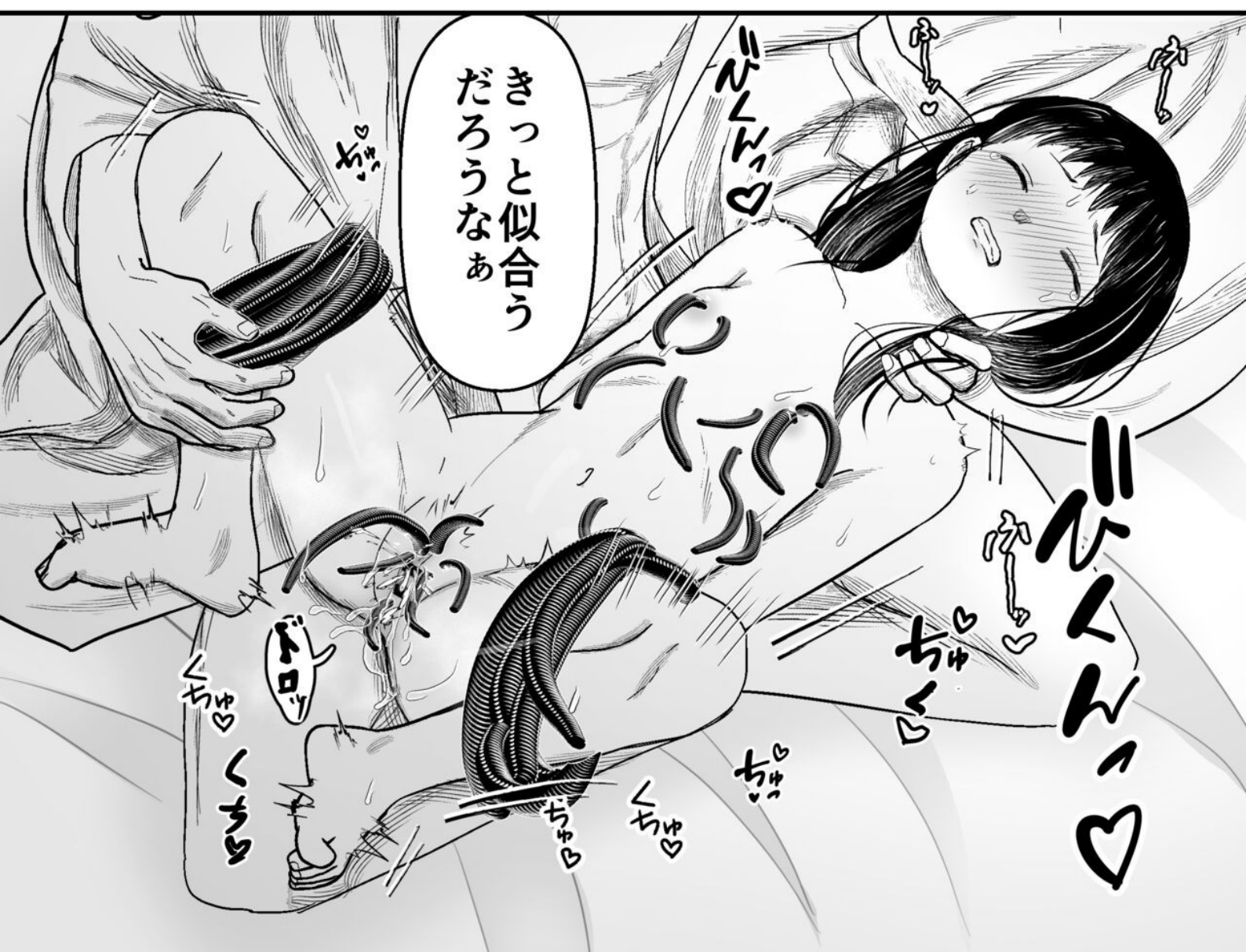


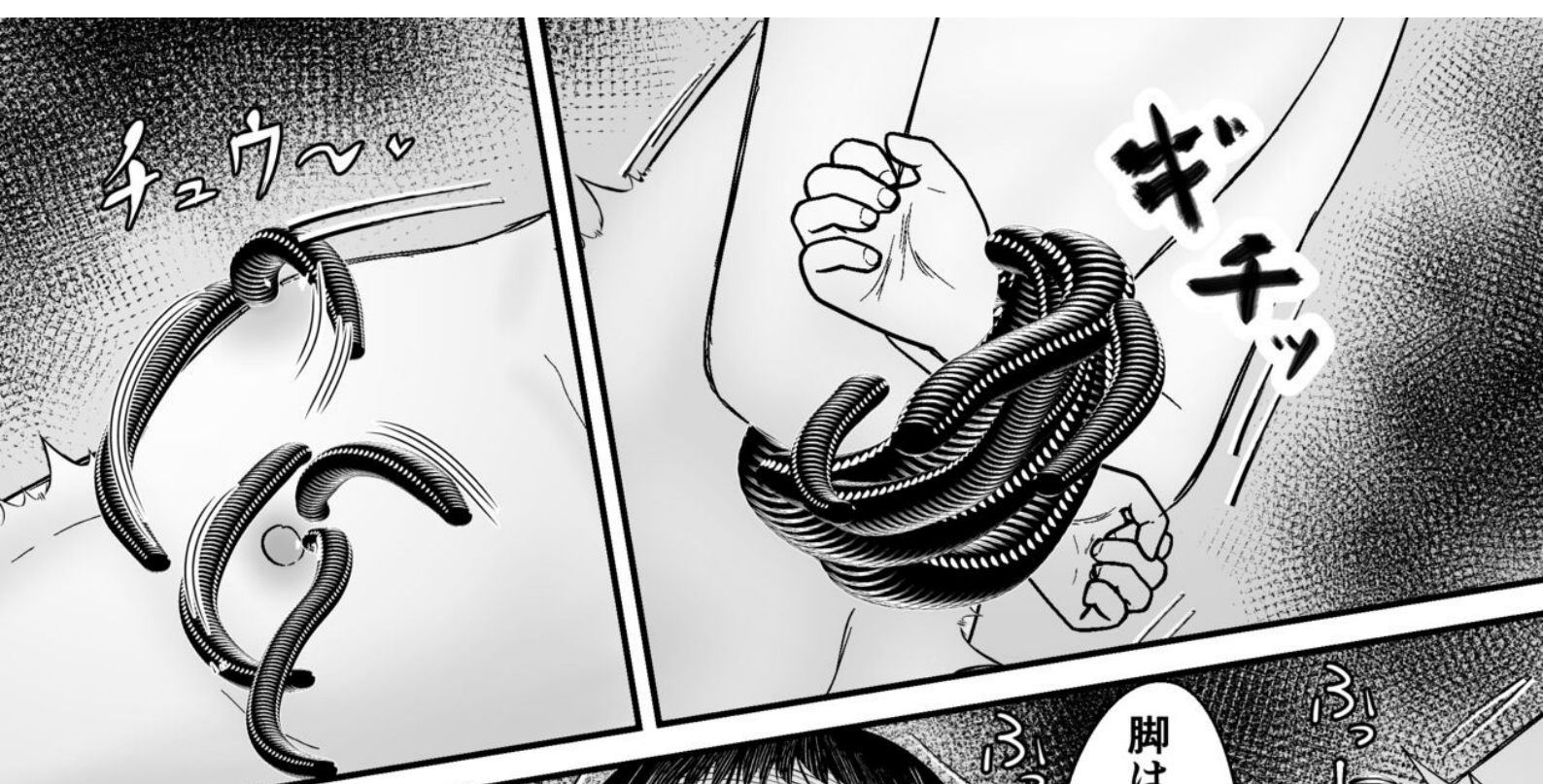
髪、伸ばしたんだな。
まひるが増えて嬉しいぞ

髪飾り付けてみるか？

なんでも好きなものを
用意してやるからな

それとも、まずは
花無垢の方がいいか？







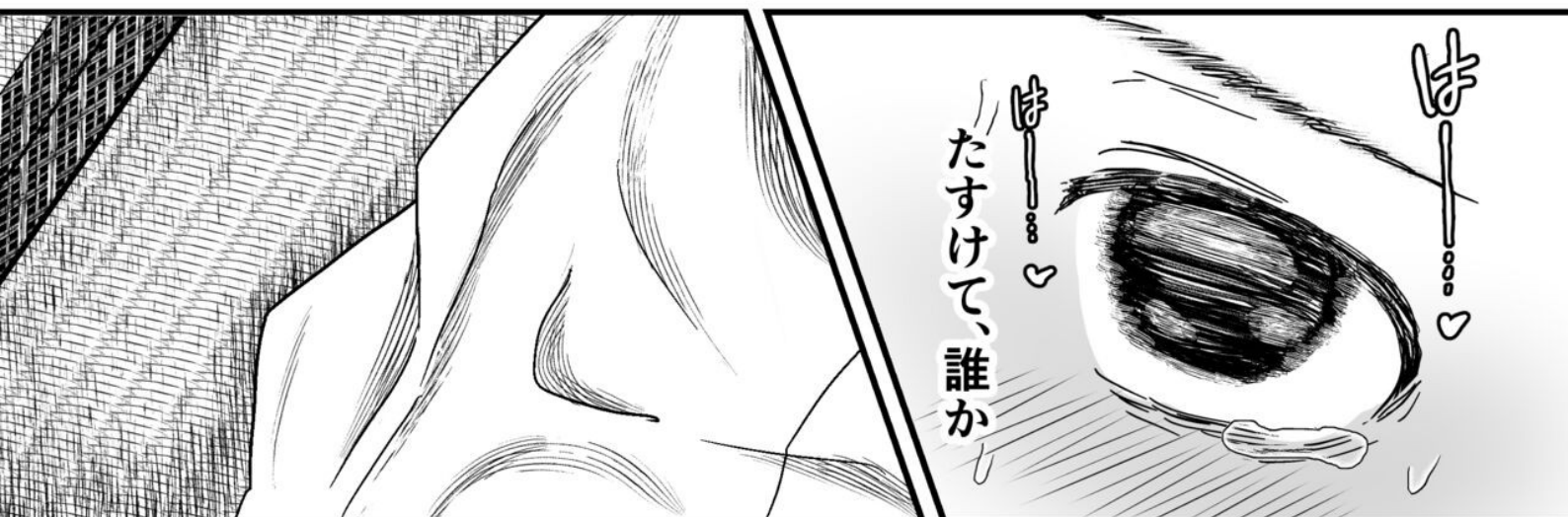
お前が居ない間は
乾いて仕方がなかったぞ

これからहतつぷり
愛でさせてくれ

びくっ

ッポ...♡

ッポ♡



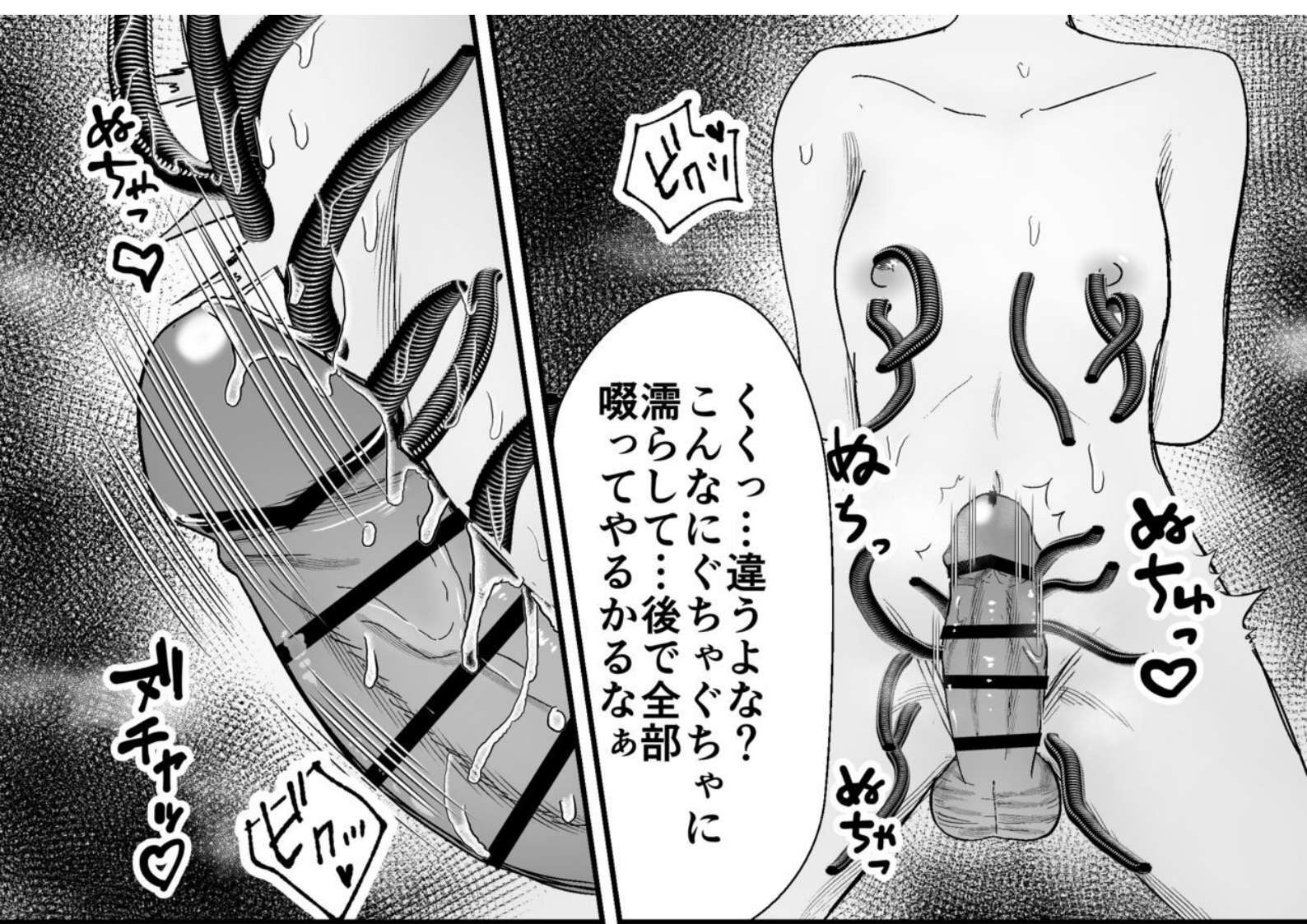
は...♡

は...♡
たすけて、誰か



めっちゃ♡

俺はお前の事をこんなにも
必要としてるのに
お前はそうじゃないのか？



くくっ…違うよな？
こんなにくちゃぐちゃに
濡らして…後で全部
吸ってやるかるなあ

ぬちゃっ♡
ぬちゃっ♡
ぬちゃっ♡



まひる、声を
出して俺を求めろ

そうしたらもっと
いい事をして
やるから…!!

もっといいこと…？

は…

ヌルッ♡

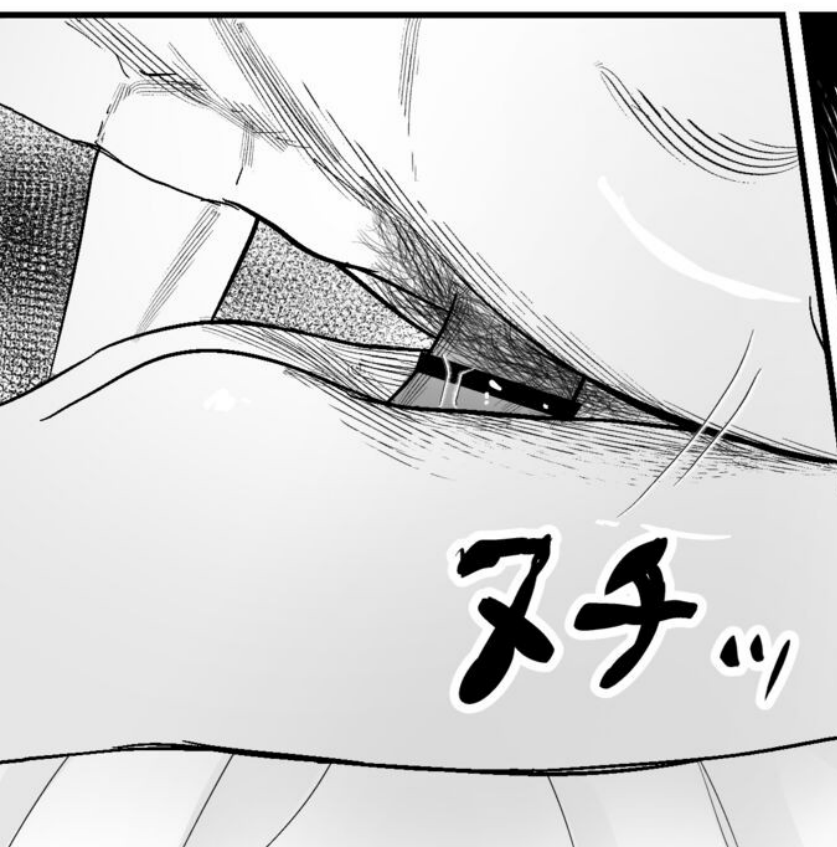
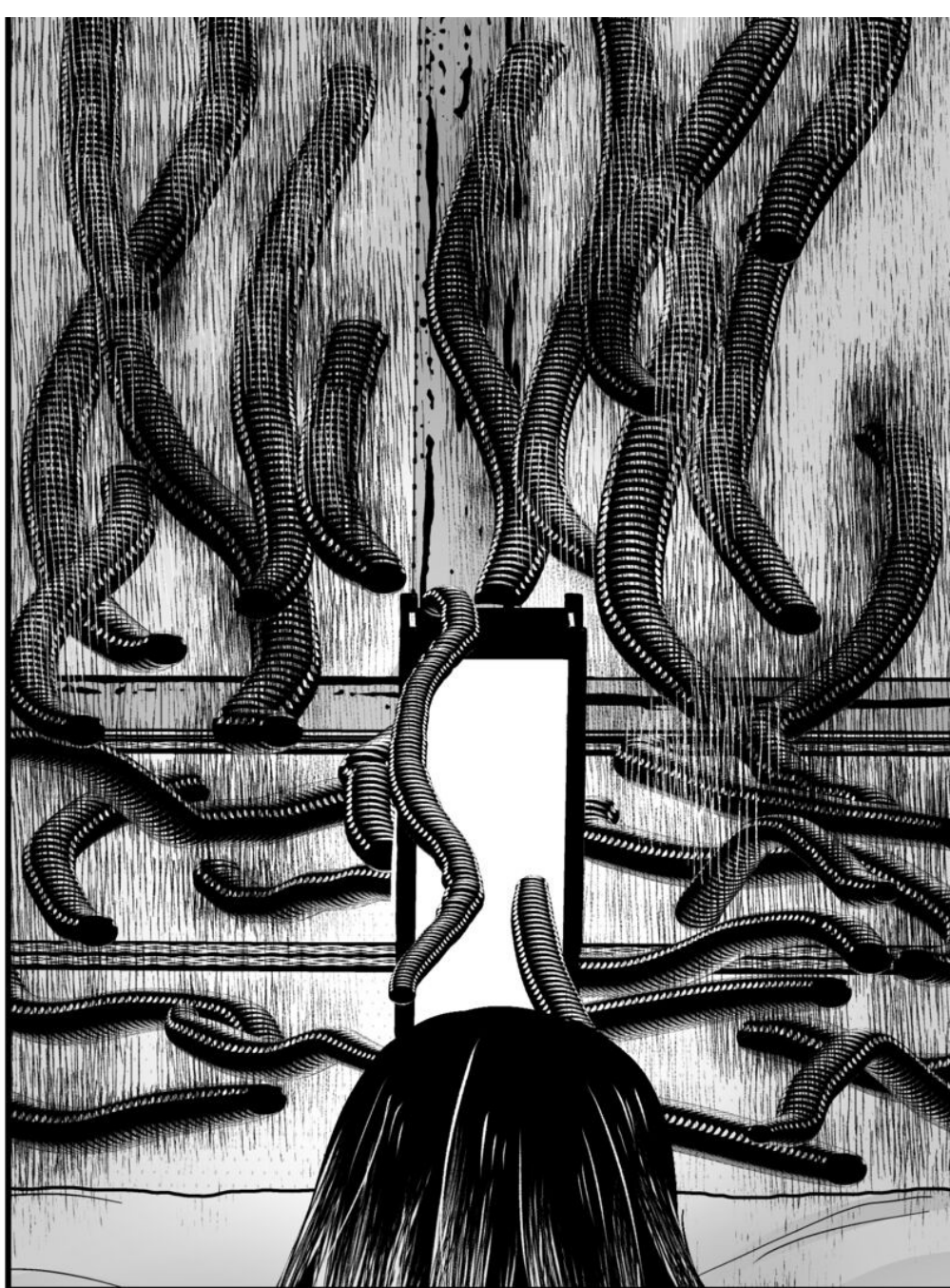
ヌチ

は

は



でも、声出しちゃだめって…



…そうか

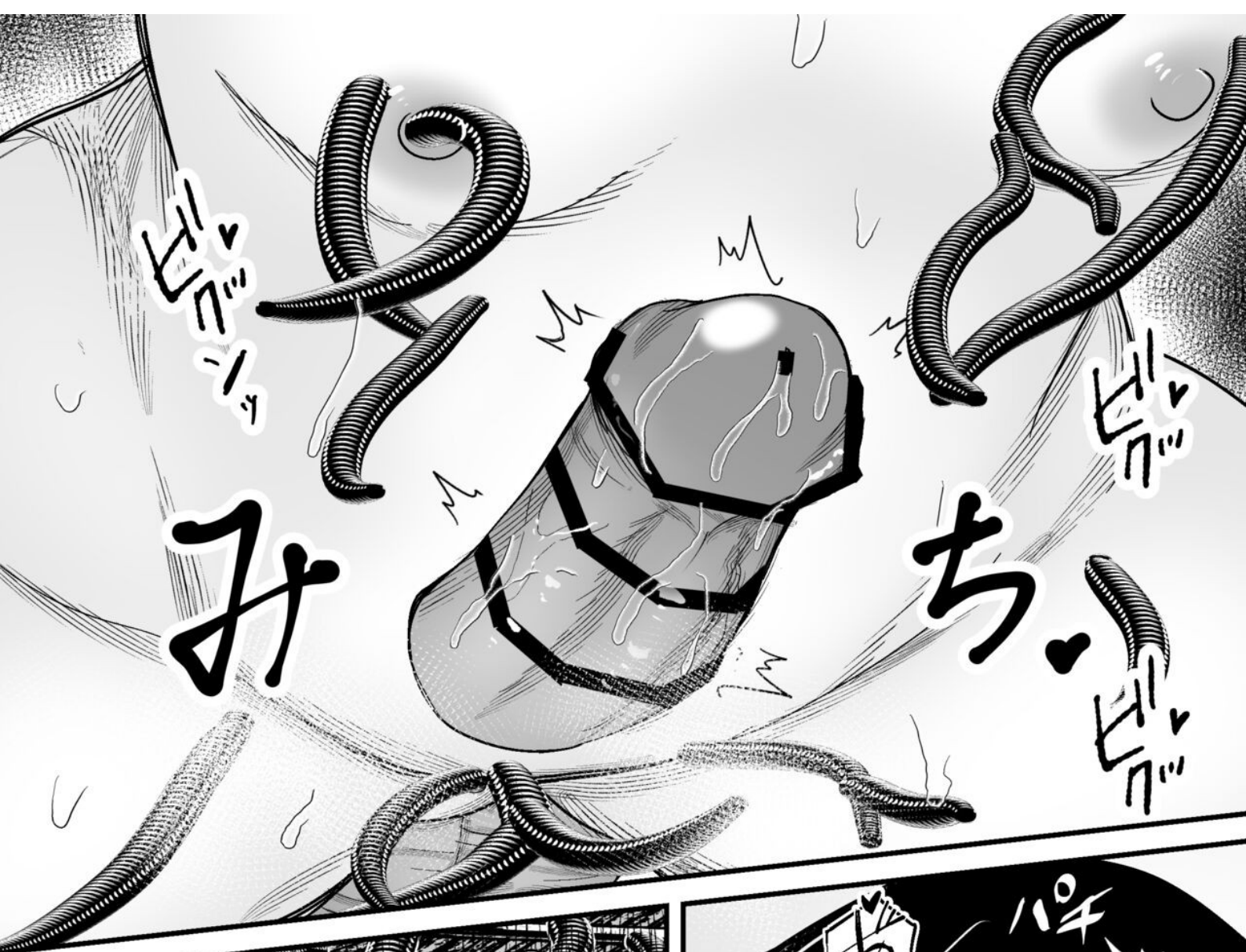


カリッ

おっ

あ
あ
あ

おっ



まひる

やっと声が聴けた





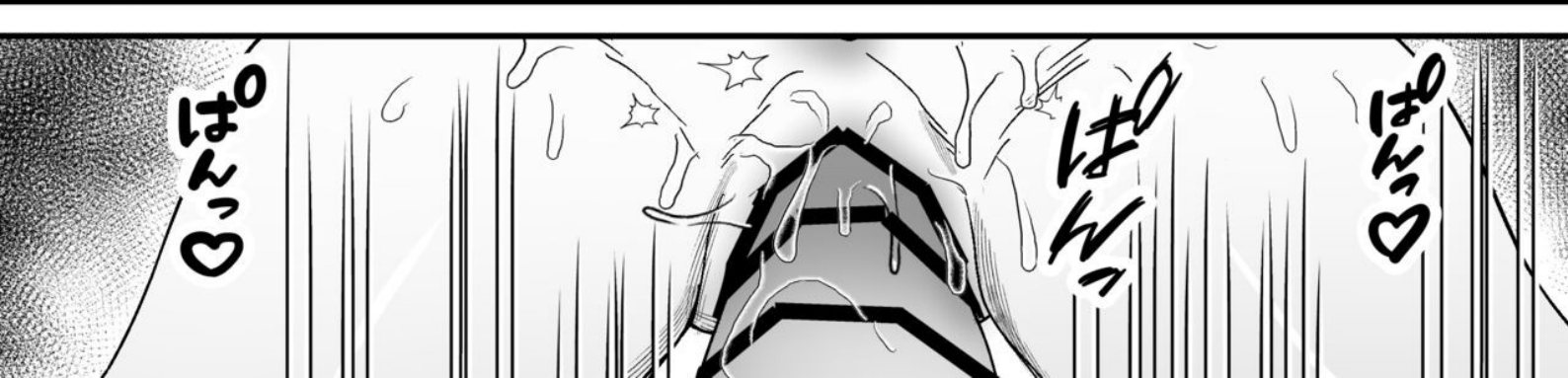
ずっとこう
したかった

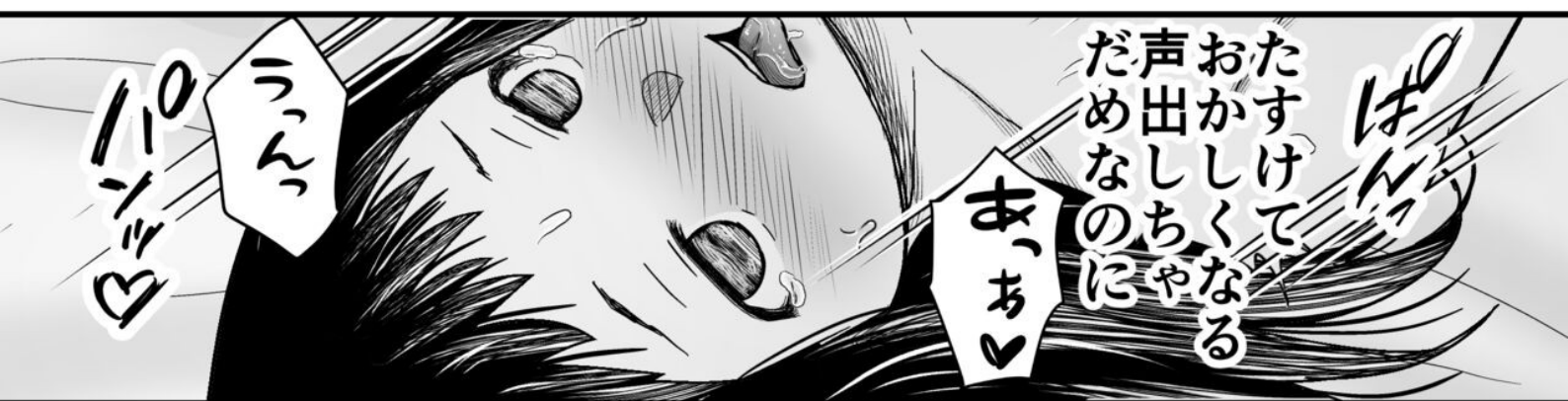
俺のだ

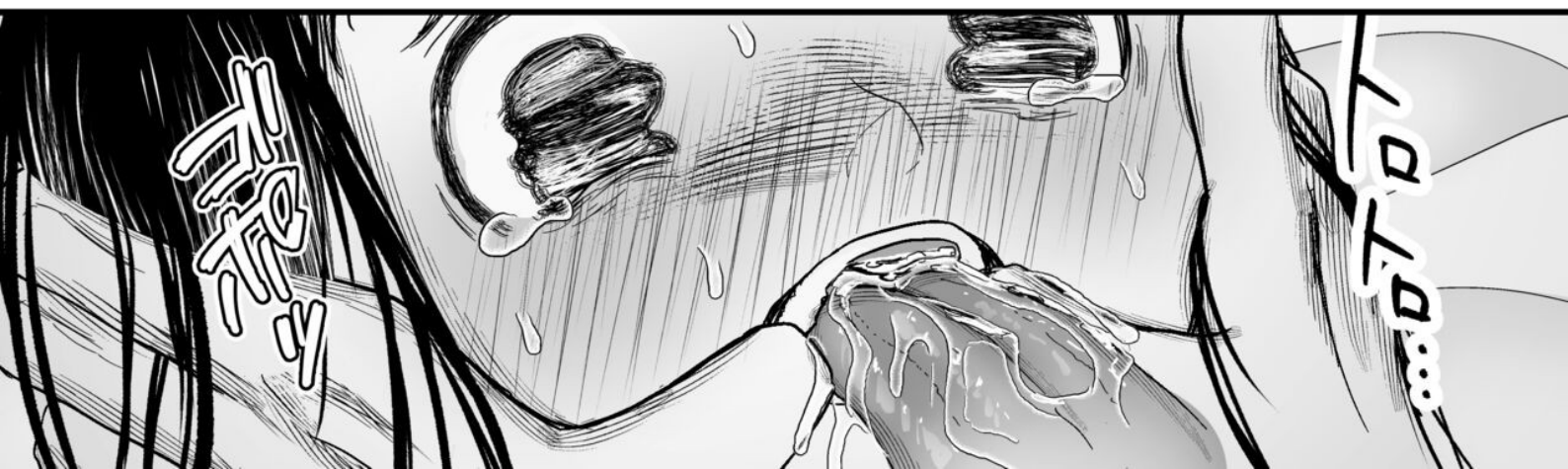
はー

はー











あのまま俺に見つからなければっ、

ぱん ぱん ぱん ぱん

逃げきれたかもしれんがっ…

あーあ

んん

だが、今は違う。まひるがここに居る…

俺のものをっ美味そうに受け入れてる

すりゃっ

ズレッ

ブルンッ

ドキュン♡



俺とこんな事したら
もう常世に帰れる
訳ないよなあ？

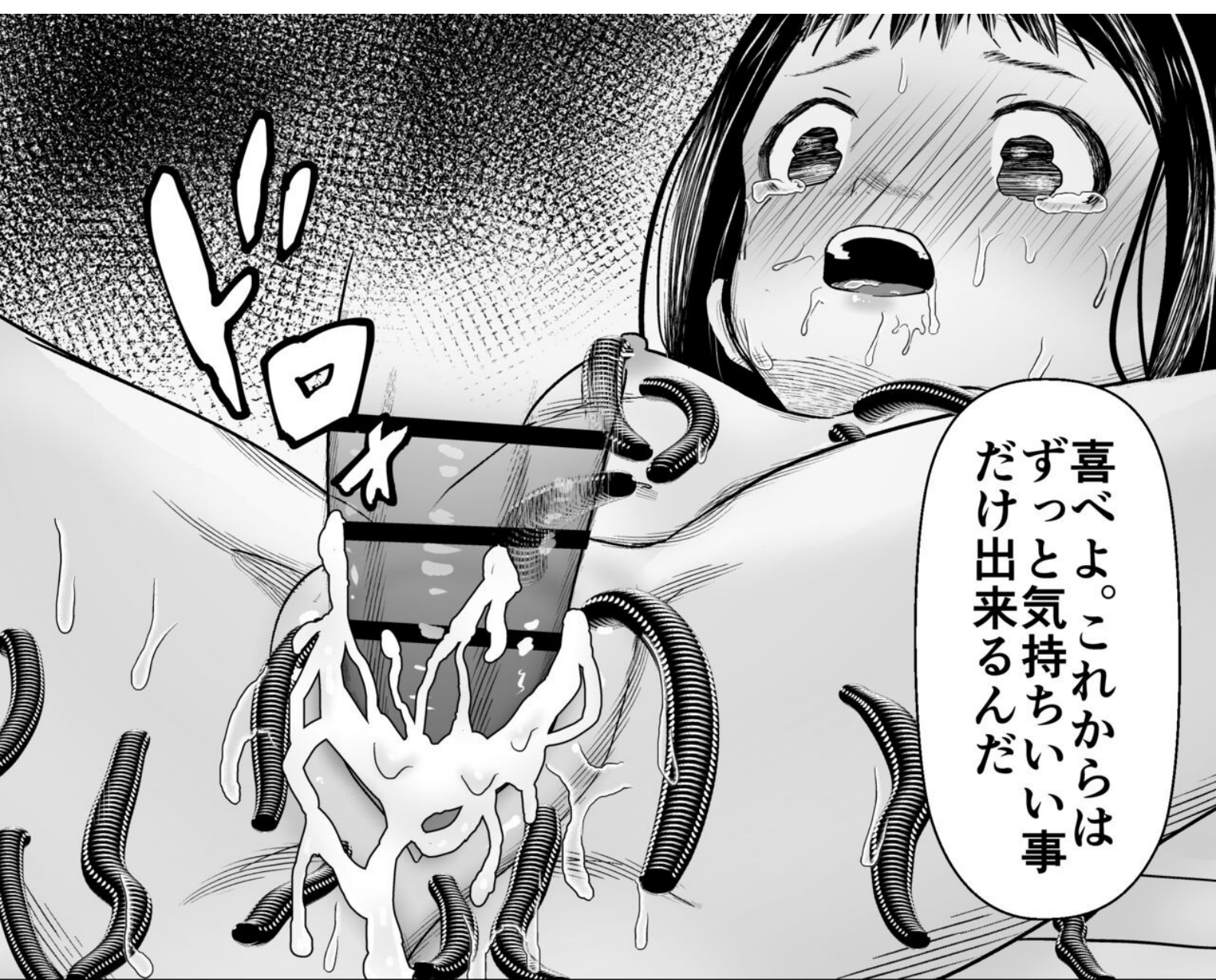


やだっ

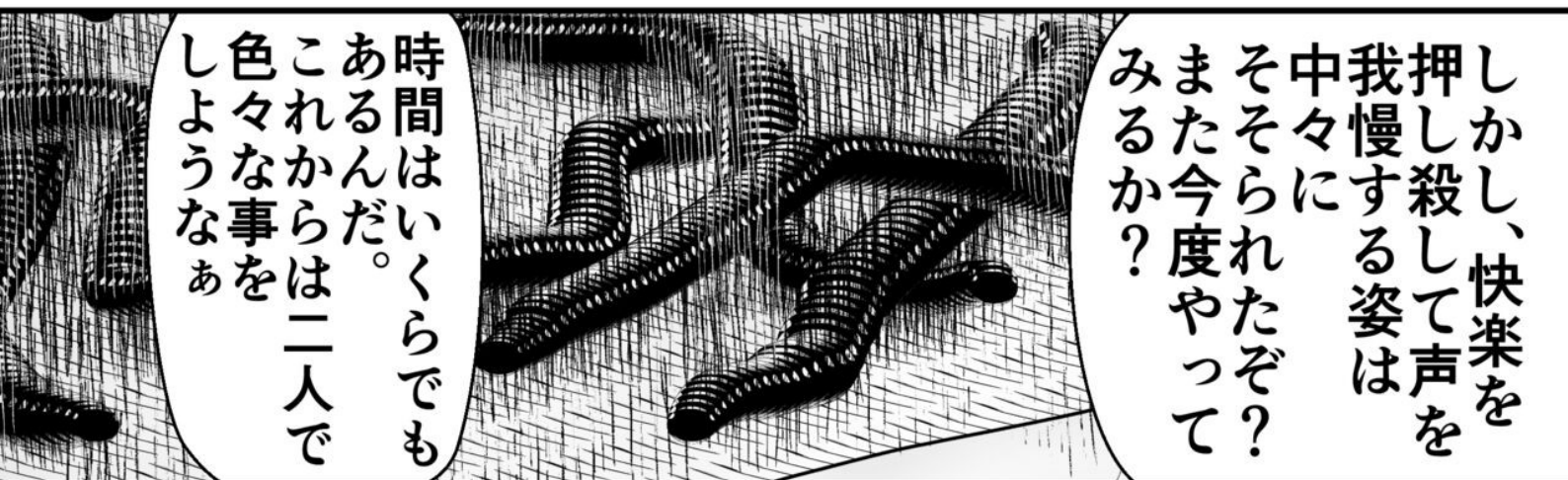
ド。ド。ド。



あ、あ、あ、

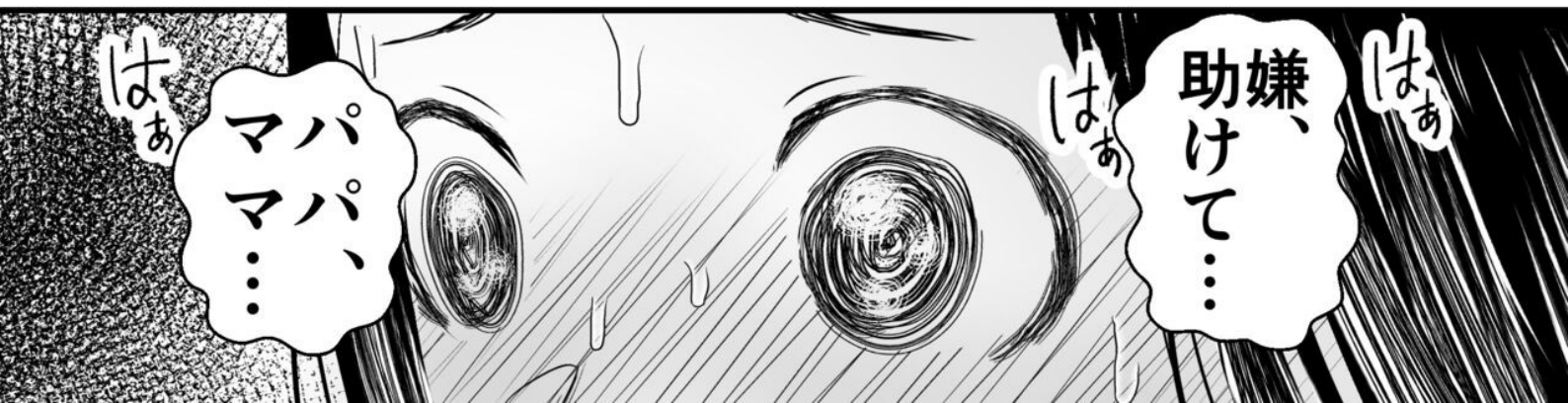


喜べよ。これからはずっと気持ちいい事だけ出来るんだ



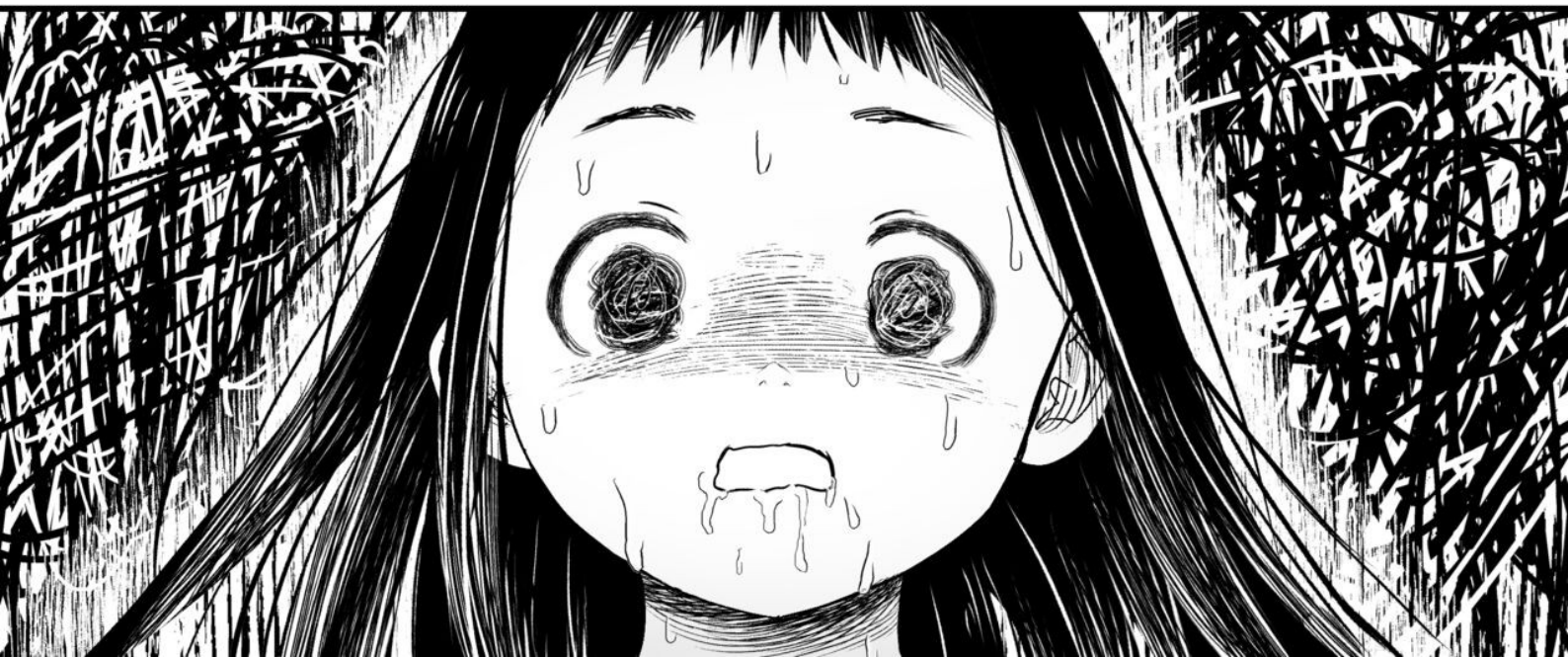
しかし、快楽を押し殺して声を我慢する姿は中々にそそられたぞ？
また今度やってみるか？

時間はいくらでもあるんだ。
これから二人で色々な事をしようなあ



嫌、助けて…

マパマパ…



いやああああ!!

こんなところ
居たくない!!

ははは、気が合うな!
だがそう悲観
しなくてもいい♡

これからお前の
世話は全て余す
ことなく俺が
してやるからな♡



いやあああ！
もう触らないでえ！

いいや！嫌！
あやあ！
行っつてえ！



まともに喋ったと思ったら
随分と酷い言い草じゃないか

この淫乱



とつくに気付いて
るんだろう？

あの姿隠しの
呪いが効く前！
まひるの血を
吸ってからは
ずっと見てた
全部見てやった

お前俺のこと
呼びながら
耽ってただろ

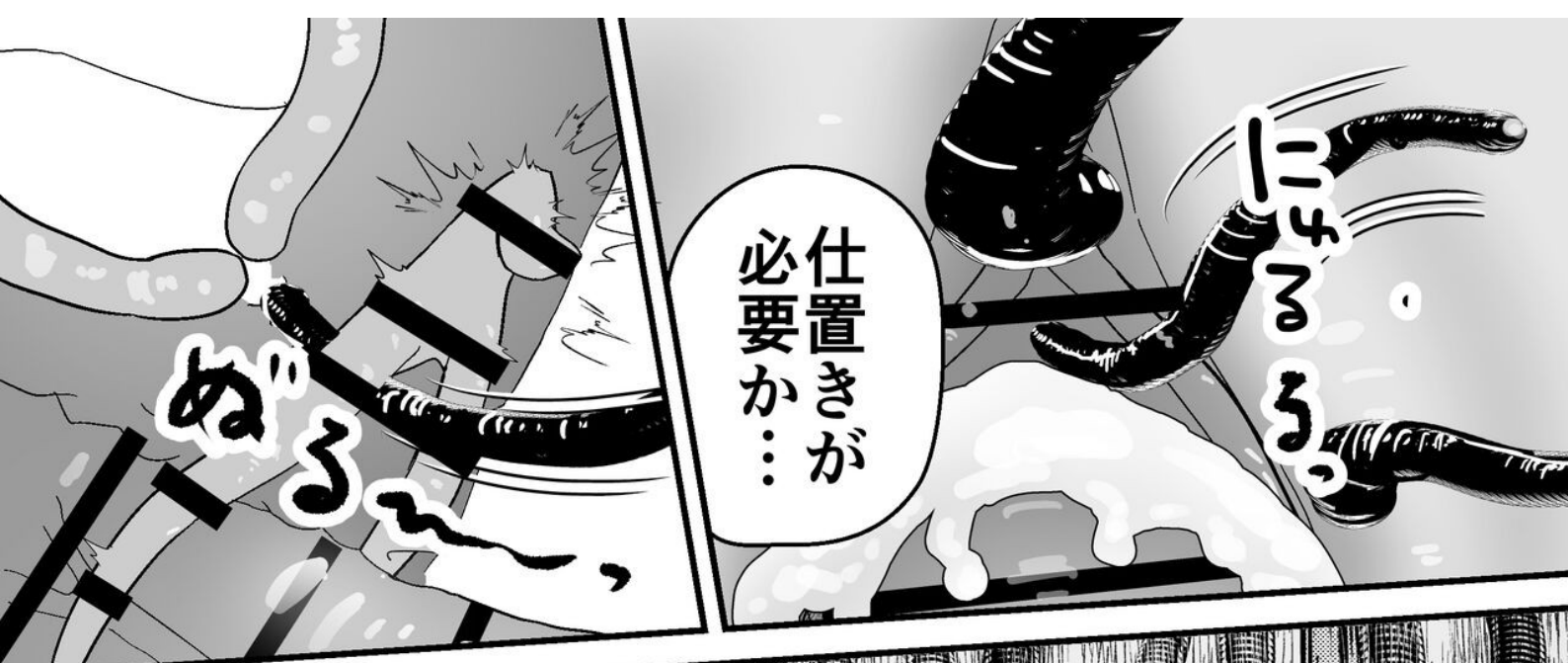
あんなもの見せられて
どうしてこっちが冷静
でいなきゃならいんだよ

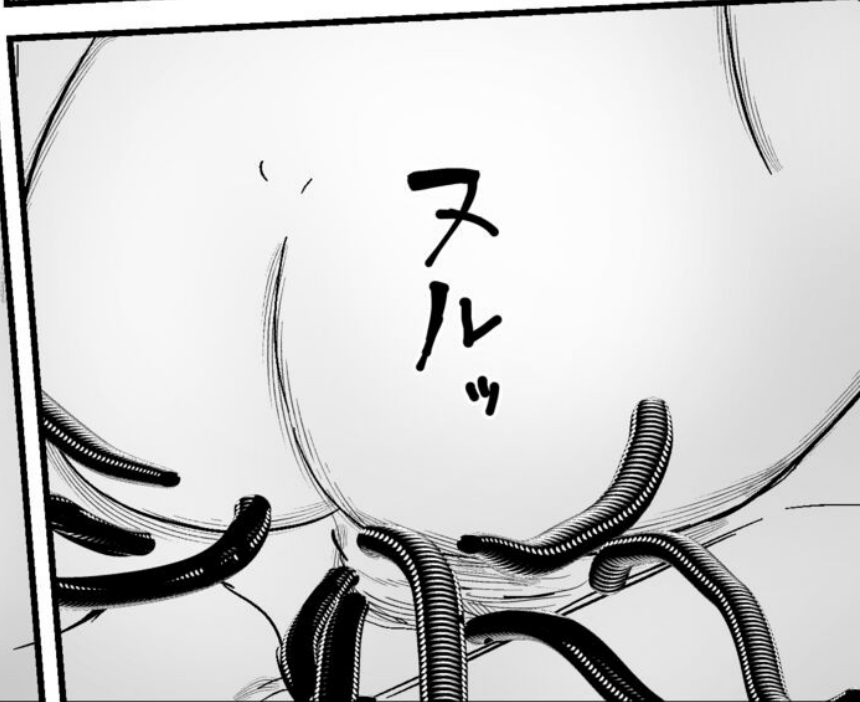
なあ、一年以上も
俺を無視して
楽しかったか？

煽るのも大概に
しとけよ
阿婆擦れが：

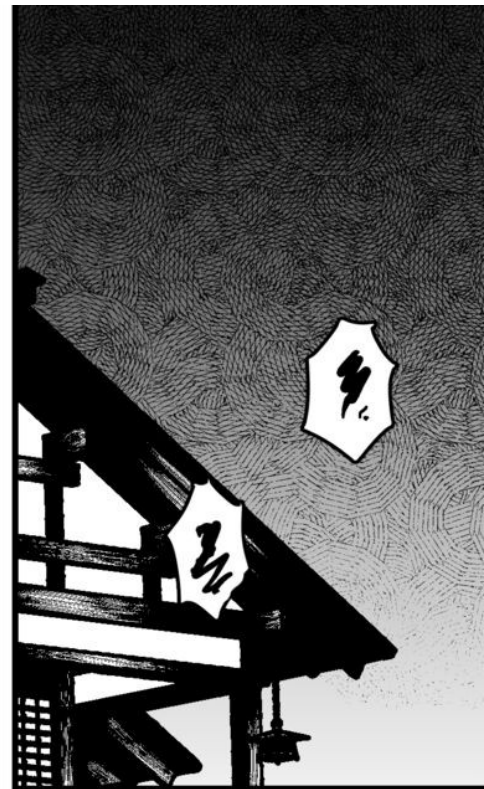
お前











いくときは
しっかり声に
出すんだぞ

ぐちゃっ♡

ぐちゃ♡

イッ♡

グッ♡

ぐちゃ♡

イッ♡

ぐちゃ♡

くくく、上手に
なったじゃないか

ぐちゃ♡

ここでは恥ずかしい事
なんて何もないんだ

カチュッ♡

はぁ♡

はぁ♡

もうイきたくない、
お願い早く醒めて…!!

カワッ♡

カチュッ♡

カワッ♡

カチュッ♡

カチュッ♡

きゅん♡



あの小娘、今までの
奴らと違って
擬態が効いている

こちらが見えてる癖に、
本質を見ちゃいない

ふん、半端者め

今日は無事に
生き残れたが、
明日はどうか？



供物か。心なしが
存在が濃く
なったようだが

これを食べるのは
何百年ぶりだ？

亡霊共が彷徨う森に
戻りたくないから
とはいえ、必死だな

いつそ
あの娘に

信仰でも
して貰えば

何を今更
馬鹿な事を



神様っ

あとがき

本作を購入してくださりありがとうございます。
無様ヤンデレとおにロリを同時摂取したいという欲で
描いた作品でしたがいかがでしたでしょうか？
作品を描くにあたっていろんな物から影響を受けて
おりまして、代表的な物としては
「近畿地方のある場所について」「笑う標的」
「けろけろけろっぴのぼくらのお姫さま」
「ef -a tale of memories(7話の留守電シーン)」
などがあります。他にも色々ありますが、どの作品も
非常に素晴らしいです。
最後に、レビュー等頂けますと次作品に出てくる
ヤンデレ男の糧になります。

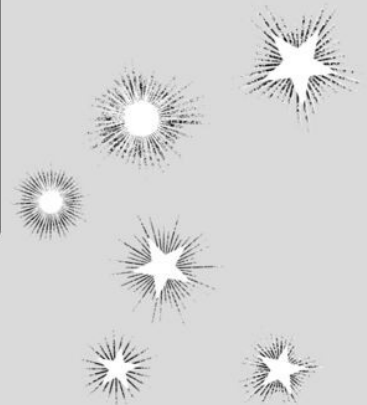
レビューして頂ける場合は
作品ページ下までスクロール
お願いしますm(_ _)m→

この作品のおすすめレビューを投稿しよう！

レビューを投稿する

レビューをもっと見る >>

マシュマロになります→



サークル:此花マカロン
作者:白飴ネリネ
X(黒酢名義):kurozu96

画像の無断転載、複製、複写、違法アップロード等は禁止になります。

山怪(神様)

不具の男が妖に転じたモノ。人の姿を失ってから、若く健康そうな男の皮を剥いで中身を食ったり、その他様々な悪逆を働きながら生きてきた。しかしそれにも飽き始め、虚しくなってきた頃に封印される。まひるの体液と共に様々な感情を得ながら生き存える事になる。結界の中に居た見目のいい霊媒師の顔右半分を誤って損壊させてしまい、その皮を被った事で右半分だけ変化が解けやすい。人から好意を向けられる事に慣れていない。

まひる

亡霊達の子孫。名前に蛭、又はそれを連想する要素があり、尚且つこの世のものでないモノを見る目がある人物が、結界の中に導かれる傾向がある。

亡霊

結界を張り山怪を調伏しようとするも返り討ちにされる。結界の中で死んだ為、輪廻の輪にも戻れず彷徨うことになる。今は正気ではない。彼らの存在が縁となり外から人間を呼び込んで居る。